京城日報
二十八日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介

○米政府和議考慮中

米國政府は羅馬法王の講和提議に就き目下考慮中なり（桑港電報）

○米政府露國援助聲明

米國々務卿ランシング氏は露國大藏大臣に電報を發し露國に對する米國の信認を聲明し此の際政府は米國の有する總ての材料を擧げて露國に提供し以て最後の凱旋に資すべく決定したりと發言せり（桑港電報）

○山東土匪濟南を脅かす

山東に蜂起せる土匪は勢益々猖獗を極め張勳氏の部下と連絡を執り濟南を脅かさんとし人心恟々たり（濟南電報）

○獨軍露都を衝かん

リガ防禦線壞滅——政府莫斯科に移らん——ケ内閣の危機

獨逸參謀長ヒンデンブルグ元帥の指揮するリガ攻擊軍は露國の同方面に於ける防禦線を壞滅したり其の結果獨軍の露都侵入可能なりと信ぜられ露國政府は莫斯科に移さるべしと傳へらるケレンスキー內閣の安定は今や脅威せられ非常なる危機に瀕せりと認めらる（紐育電報）

▲リガに於ける露軍の防禦戰線全く潰滅に歸し獨軍は勢に乘じて長驅露都を衝かんとする虞あり（桑港電報）

○露國過激派の暴擧

露國々民大會は首相ケレンスキー氏の演說を以て開會せられたり過激派は同大會に反對し各工場を煽動して局部同盟罷業を起さしめ爲に電車は運轉を休止し旅館料理店は何れも休業したり（莫斯科電報）

○露國緊急大會

第一流政治家の會合——豫備會議開かる——邦家を滅亡の危機より救へ

露國緊急大會は愈八月廿五日より廿八日迄開催の事に決定したるが同會に列席す可きは露軍總司令官アレキセーフ、ブロシロフ兩大將前首相リユーオフ公の外グチコフ、ミリユウコフ、ロヂヤンコ、リヤブシンスキー氏等第一流の政治家及び黨派代表者にして既に當市に會合せり而して八月二十一日より二十二日に亘り緊急大會に對する豫備會議を開き熱烈なる演說討議の後政府が確固たる政策遂行に依り其權威の作興及び軍紀の振肅を計り政社團體と絕縁して國民の信賴を博し邦家を滅亡の危機より救濟せん事を希望する旨の決議を爲せり（莫斯科電報）

○アロ二州を公國に

獨逸はアルサス、ローレン二州に自主權を與へ帝國領を廢し公國と爲す可しとの報傳はれり伯林公報に依れば宰相が本件に關し各派首領と談合せしは事實なるも只近々各聯邦間に此の事に關し協議行はる可き事を示せるのみなりと（ベルン電報）

○運賃制限と勅令

政府は貨物運賃制限竝強制の必要上緊急勅令を發す可し（東京電報）

○米鐵解禁運動

阪神の鐵業者は米鐵解禁期成同盟會を起し大々的反對運動を開始せり（大阪特電）

○綿糸相場崩落

大阪にては綿絲相場暴騰の爲め綿成金を出だせしが一時同相場は天井知らずの狀態にありしも其の反動安の爲め俄然相場崩落して損失を被りたるもの多し（大阪特電）

○印度屑棉禁輸

印度政廳は屑棉輸出を禁止せりとの報來れり（大阪特電）

○棉花相場暴落

二十七日入電に據れば米棉は原產地に於て暴落したりと（大阪特電）

○對支爲替不利

對支爲替益々昂騰し前電に比し各地一兩又は二圓方我側に不利也（大阪特電）

○支那苦力移入

職工不足の爲め支那苦力を雇ひ入る事とし大阪製鐵會社にては第二回目の雇入れをなし五十名の苦力二十七日著阪したり（大阪特電）

○宮入醫學博士

醫學博士宮入慶之助氏は廿七日午後七時來釜同八時三十分出港關釜連絡船新羅丸にて歸東の途に就けり（釜山特電）

○西管廣島事務所長

鐵道院西部管理局廣島事務所長兒玉巳之助氏は事務調査の爲め廿七日夜入港連絡船にて來釜同夜十一時發列車にて京城に向へり（釜山特電）

○連絡統一協議

釜山奉天直通列車實行手續竝併業後に於ける運輸事務改善に關し協議のため滿鐵京城管理局安藤又三郎氏佐藤三郎の兩氏は二十七日夜安東に向ひたるが滿鐵本社よりは西村營業課長及び貝瀬運轉課長來安の上協議を開く筈なり而して其事項の主なるものは奉天釜山間直通列車の運轉並併業に伴ふ旅客貨物取扱に關する改善方法なるものゝ如く從來の普通急行列車の安東に於ける乘替は啻に乘客に手數を煩はすのみならず會社に於いても無用の手數を要することとなるにより今回は根本より之が改善方法を講ぜらるならん而して右代表者によりて決定されたる事項にして國際關係を有せざるものは直ちに實施せらる可く他は支那政府に交涉の上實施を要するにより多少日時を要するならんと云ふ

○調理課職務了期

臨時土地調査局の調理課は過般課員百八十餘名を罷免し其後工藤課長以下二十數名にて諸般の整理事務を執りつゝあるが十月末迄に全く事務を終る由

○工廠發表期

確聞する處に據れば砲兵工廠平壤支廠設置の件は來る九月二日を以て發表せらるべし

○定例長官會議

總督府にては二十八日午前九時より總督を始め各部長官、數務總長各官房局課長出席通常政務に關し審議正午前散會せり

○兩道面吏選奬式

黃海道に於ては面吏員の篤行者に對し銀側懷中時計に選奬の文字を刻し地方有力者面長等立會の上選奬式を擧行し郡長より事蹟の概要竝選奬の次第を述べて之を授與し尙將來表彰の光榮に辜負せざる樣益々奮勵すべきを懇諭せり又江原道に於ても同樣表彰する處ありしが兩道の篤行面吏員左の如し

▲黃海道

▲延川郡石山面宋炳玉▲金川郡外柳面長李鍾[illegible]▲[illegible]郡[illegible]面長[illegible]▲黃州郡[illegible]▲鳳山郡[illegible]▲谷山郡[illegible]▲瑞興郡[illegible]面長[illegible]▲[illegible]郡西面[illegible]▲[illegible]郡中[illegible]面書記金光[illegible]

▲江原道

▲平昌郡珍富面長崔[illegible]▲三陟郡芦谷面長朴[illegible]▲襄陽郡[illegible]面書記李文[illegible]▲[illegible]郡北面[illegible]▲[illegible]郡[illegible]面[illegible]▲江陵郡[illegible]面[illegible]▲[illegible]郡北面[illegible]

○軍司令官訪問

松川軍司令官は二十八日午前十一時馬車を驅りて長谷川總督を總督府に訪問し重要事務に關し會談數刻に涉りて退出せり

○松川司令官招宴

松川軍司令官は二十八日午後七時より朝鮮ホテルに於て著任披露の宴を開きたるが招待の範圍は總督府及び所屬官署の高等官二等並各銀行會社重役各課長、仁川府尹、龍山在鄉軍人會長、各理事務局課長及京城龍山在鄉軍人分會長各部隊上長官新聞通信代表者軍司令部出入記者等なり

○山本軍參謀歷訪

新任軍司令部參謀山本中佐は二十八日總督府に總督及び各部長官各局長等を訪問し新任の挨拶を爲したり

○木村參謀長通過

過般陸軍大更迭に際し第七師團參謀長に補せられたる木村飛自氏は二十九日夜京城通過司令部所在地旭川に向ふ豫定なり

○春川守備隊長赴任

新任步兵七十九聯隊大隊長陸軍步兵少佐勢三郎氏は赴任の途次二十八日軍司令官に到著申告をなし二十九日朝任地春川に向ひ出發すべしと

○芳賀院長間島行

總督府醫院長芳賀博士は京城醫學專門學校教授佐藤剛藏氏と共に醫院事務視察の爲め二十八日付を以て間島出張を命ぜられ近々出發す可しと

○鮮銀重役動靜

盲腸切除のため東京帝國大學醫科大學病室に入院中なりし木村鮮銀理事は去る二十五日退院し自邸より當分病院に通院する由にて多分九月中旬に至れば健康は復舊すべし又京都大學病院に入院中なりし三島理事は全く本復せしを以て二十七日退院し直ちに東上したる由なるが一方美濃部總裁は株主總會も終了したるため木村理事の容體並に三島理事と對談の上其の歸期を定むる譯なるが多分總裁も三島理事も九月中旬迄には相前後して歸鮮の途に就くべしと

○菱田通譯官渡米說

菱田通譯官は大藏省關係の要務を以て來る九月中出發米國に出張することゝなるべしとの說あり尤も未だ確定せるには非ざるやに聞く

○牧山氏令兄歸東

朝鮮視察の爲め來鮮滯京中なりし牧山耕藏氏實兄臺灣新高製糖專務取締役工學士牧山熊二郎同帝國製糖專務取締役法學士牧山清砂の兩氏は二十八日午前八時三十分南大門驛發列車にて歸東せり

○輕鐵新線

施工方針は近く決定すべし

佐藤常務談

朝鮮輕鐵

既報十八日附を以て認可されたる輕鐵新線敷設指令書は漸く二十七日に至り慶尙北道警務部を經由し朝鮮輕便鐵道株式會社（大邱）に交附されたるに就き同社常務取締役佐藤潤象氏語つて曰く認可條件の內容は概して出願當時の條件と大差なく北起點成歡驛より稷山を經て安城に至る線を平澤起點とし長湖院を經て陰城及び驪州に至るべく變更されたるのみ變更されたる部分に對しては直ちに同方面に水木技師長を派し實測せしむる豫定なるが今後會社に於ける事業進行上の方針に就ては近く牟田口副社長來邱の上催さるべき重役會附議の後ならでは之れが詳細を發表し難し、而して當初の既定線たる蔚山線の敷設權は八月十四日を以て期間滿了すべかりし爲め更に向ふ六箇月間の申請書を提出せり會社は施工の順序として先づ有利なる方面の線路を先に起工せざるべからずと雖も元來補給會社の事とて監督官廳の指圖に從はざるべからざる關係上當初の既定線たる蔚山方面と今回の新許可線たる鳥致院方面の內何を先に著手するかは未だ確定せず資本金の割當に至りては初めの目論見通り遂行せらるべし（大邱支局）

▲命令書

第一條 輕便鐵道の線路は左の通

一 鳥致院より淸州を經て忠州に至る線路

二 平澤より長湖院を經て陰城及驪州に至る線路

三 [illegible]

線路の起點及其の經過地は成歡長湖院間の部分を除き願書に添附したる圖面の通

第二條 平澤長湖院間變更部分に要する書類は一箇月內に調製提出の上認可を受くべし

第三條 許可有効期限は大正三十五年十二月三十一日迄とす

第四條 原動力は蒸汽とす

第五條 線路は單線とし軌間は二呎六吋とす

第六條 會社は工事施行の認可申請を許可の日より鳥致院淸州間は一年內平澤陰城及驪州間は一年半內に提出すべし

第七條 工事は前條の工事施行認可の日より[illegible]一年半內に竣功すべし

第八條 工事は適宜數區に分ち其の著手及び竣功期は之を定め朝鮮總督に屆出づべし

第九條 必要と認むるときは官吏を派遣し工事を監査せしめ工事が工事方法書又は法令若くは法令に基き發する命令に違反したるときは監督上必要の處分をなさしむることあるべし

第十條 他の鐵道輕便鐵道又は軌道と聯絡運輸又は直通運輸を命ずることあるべし

第十一條 公益上必要と認むるときは何時にても原動力の變更を命ずることあるべし

第十二條 朝鮮總督は輕便鐵道令第七條に依り買收を爲すときは左記標準價格に依る

買收價格は最近三年の各決算期間に於ける輕便鐵道の建設費に對する益金の平均割合を買收の日に於ける建設費に乘じたる額を二十倍したる金額とす

前項の益金とは輕便鐵道の營業收入より同營業費（一箇年の利子除く）賞與金を控除したるものを謂ひ益金の平均割合とは三箇年の期間に於ける毎決算期末の開業線建設費合計を以て同期間に於ける益金の合計を除したるものを謂ふ但し六箇月を以て一決算期と爲すときは其の割合の二倍とす

買收の日に於て運輸開始後未た三年の期間を經過せざる場合又は第二項の金額が建設費以內に於ては協定したる金額を以て第二項の金額に代ふ

輕便鐵道及附屬物件の狀態不完全なるときは其の補修に要する費額は買收價格より之を控除す前項補修に要する費額に付協議調はさるときは朝鮮總督の選定したる鑑定人の意見を徵し朝鮮總督之を定む

買收代價は公債證書を以て交付することあるへし此の場合に於て公債は額面金額に依り計算し五十圓未滿の端數は[illegible]

前項公債の利率は政府之を定む

第十三條 陸海軍官衙に於て輕便鐵道を軍用に供することを命したるときは之を拒むことを得す

前項の場合に於ては明治三十七年勅令第十二號輕便鐵道軍事供用令及同年陸軍省令[illegible]に準ずるものとす但し其の料金は[illegible]

第十四條 技術に關する事項を擔任せしむる爲主任技術者を置き履歷書を添へ其の氏名を屆出づへし之を變更したるとき亦同し主任技術者を不適當と認むるときは其の解任を命ずることあるへし

第十五條 公益上必要と認むるときは工事方法の變更を命ずることあるへし

第十六條 許可の効力を失ひたる場合に於ては道路橋梁其の他の工作物を原形に復せしむることあるへし

第十七條 將來定めらるゝ法令の結果又は公益上必要と認むるときは本命令書の條項を變更することあるも之を拒むことを得す

○撫順運炭課長入京

滿鐵撫順運炭課長たる田邊治吉郎氏は冬期に於ける撫順炭配給狀況調査のため二十八日朝入京せり

○辭令

總督府技師 中村新太郎

南滿洲へ出張を命ず

○兒玉技師入京

廣島保線事務所長兒玉鐵道院技師は二十八日入京せり

○中村技師出張

總督府技師中村新太郎氏は鑛業調査のため南滿洲へ出張を命ぜられ近く出發すべしと云ふ

○府尹郡守會議（第二日）

京畿道廳構內宣化堂に於て二十七日より開會せる管內府尹郡守及び庶務主任會議は松永道長官主催の下に二十八日午前八時より前日に引續き第二日を開催せるが今回の會同は主として過般發布を見たる面制事務及び水利組合令其他に關する訓示指示及び打合せを爲すを目的とし管內狀況報告各種質疑事項に對する解答打合等をも爲す筈なるが第二日は訓示指示を以つて正午散會したり因に本月三十日を以つて會議全部の終了を見る筈なりと

○露國事情講話

滯京中の鳥居總督府通譯官は二十九日午前八時より同所擊劍道場に於て露國事情に關する講話を爲す可しと

○麻生監查官一行

總督府臨時土地調査局監查官麻生長次郎氏は總督府書記伊藤光馬、慶尙南道書記竹下克明兩氏を隨へ廿七日午前來釜土地稅其他に關する調査を爲し廿八日出發す（釜山）

【淸州】

▲忠北郡守會議 忠北道にては二十八日より三日間道會議室に於て郡守會議を開催し面制施行に關する諸法規其他を附議すべしと

▲林野調査開始 忠北道にては來る九月下旬より管內各郡に於ける林野區分調査を開始する筈なるが之は現に昨年末取敢ず開始したる淸州郡の一部及び鎭川郡等を引續き行ふものにて道廳に於ては今回之が從業員約四十名を募集中なるが主として前土地調査局に勤務し居たる者にて斯業に充分の經驗ある者より採用すべしとのことにて希望者は來る九月五日迄に忠北道廳へ履歷書を添へ願書を提出すべしと

▲淸州面區域擴張 今回指定面制の實施と共に淸州面に於ては將來市街地に編入せらるべき淸州北門外一帶を四州面より分割して併合すべき計畫あり目下當局にて審議中の由

【釜山】

▲元山署長視察 元山警察署長警視橋本義作氏は釜山に於ける港務狀況並に遊廓指定地に關する取締上の調査其他種々取調べの要件を帶び二十七日午前來釜し同日は港內及び牧ノ島神仙臺檢疫所を視察せしが二十八日は綠町遊廓の實況を視察すべし

▲學校組合會 釜山學校組合は三十日午前九時より釜山府廳內會議室に於て組合會を開き大正五年度會計決算承認に關する件を附議する筈なり

▲倉庫業者會合 釜山稅關に於ては保稅倉庫の設備なき爲め滿洲各地より輸送に係る貨物の一時保稅に不便を感じ且つ金融上不便少なからざるを以て釜山倉庫業者は興業兩倉庫を代用すべき意志なるを以て兩倉庫主任及び貨主の重なる人を廿八日同稅關に招集し之れが協議を爲す筈なり

【木浦】

▲調查員來木 朝鮮紡織會社工場地調查の爲め同社發起人にして調查員たる田邊輝雄氏及び同技師藤原林作氏は二十六日午後四時多數官民の出迎ひを受け熱狂せる木浦市民の歡迎を受け三吉野旅館に入れるが翌日より詳細の調查に著手せり

▲東拓總裁 石塚東拓總裁は二十六日午後十時來木直に三吉野旅館に入り翌日市中を視察し十二時出發せり

▲花田院長 光州地方法院花田院長は二十六日午後四時巡視の爲め來木數日間滯在の筈

▲濟州視察 吉村第二部長光州慈惠院長代理石堂醫官は原田道書記を伴ひ二十六日來木二十七日正午の便船にて濟州視察の途に就きしが歸任は來月上旬なるべし

▲木浦庭球 昨年來光州庭球團に對し再敗したりし木浦庭球團は憤慨措かず昨今猛烈の練習中なるが今般新に病院前に完全なるコートを設け去る廿六日多數の官民を招待し盛大なるコート開きをなせしが今秋の光木仕合は頗る見物なるべし

▲古鐵の景氣 木浦小西氏の引揚に係る梅加島沖沈沒汽船ボイラ二個は引揚著手前は若し上物なれば二萬圓位のものなるべしと評判高かりしが去廿六日入札の結果は四萬八千圓に上り其上更に再々入札をなし五萬圓以上に取引せらるべき模樣にて景氣盛也

病院雜題　今關天彭

永徵殿外夕陽斜。一院靜于老衲家。
涼露滿庭人不見。胡枝獨著兩三花。
爐香已盡寥仍坐。藥氣吹催一味寒。
夢後徘徊林下路。天青雲白思漫漫。

浴後に

○羅馬法王の講和提唱全文を見るに、至善至美、至公至平の、行列なるも、秋冠を遁て、誰か容易に其の深淺を知らんや、裏に裏あり、底に底あるが外交の機微也。殊に全交戰國を、基督教國と見做したるは、腑に落ちず。

○英京の人、ブランド、日本刀を戰場に使用すべき時代は過ぎ去れりと、エキスプレス紙上に論ず、ポンなる人、實例を擧げて之れを駁せり。然り、日本刀は神州男子の魂也。日出の國に名實あり、百鍊の製鐵鍛造する處。可憐、胡人、奚ぞ容易に日本刀の眞價を知らんや。

○一新聞記者あり、犬養木堂を訪ひ、輿論を代表して、貴下を忠告すと述ぶるや、木堂徐ろに、口を開いて曰く。足下の新聞紙は、其價幾何ぞや、二錢か、一錢五厘なるか、一錢五厘の價値あるのみと。記者赧然として去り、木堂の所謂一錢五厘の輿論も亦、僅に一錢五厘の讀者の輿論に過ぎず、更らに鋭を加ふ。道中木堂の面目、躍如たる處面白し

人事消息

▲勢三郎氏（新任步兵少佐）二十七日夜入京奥田旅館へ投宿二十九日朝春川へ向け出發の筈

▲黑板文學博士 二十七日夜慶北へ向ふ（京城行は誤報）

▲淺野利一氏（海州憲兵隊附憲兵大尉）二十八日朝退京

▲富士岡重一氏（技師） 平壤中學校新營工事監督の爲め出張中の處二十七日歸京

▲白井水娘氏（醫學士） 二十八日退京、全州へ

▲李[illegible]鎔侯、閔[illegible]子、李址鎔伯、閔泳[illegible]男、李[illegible] 二十七日夜水原より歸京

●不經濟の日本婦人服
△流行の變化世界第一 △上流社會より改めよ
―米國基督教傳道師某女史談―

凡そ世界に於て消費する婦人の服裝乃至裝飾品中日本の如く流行の變化甚しく且其原料の千種萬樣複雜極りなきは稀外國に於て夢想だも爲し能はざることで歐洲文明國人は數萬金を投じて首飾りを調製せしめたりとか寶玉を鏤めて贅を盡せりとかの噂は富に耳にする處なるも之等は消耗品にあらず多少の高下はあるも相當の價値は永久に持續せらるゝもの服裝の地質色彩等は流行あるも左して甚しく目立つべきものにあらず價格は特別貴賓の用に供せらるゝ外は百金を過すこと殆んど稀なるに日本婦人の服裝に至りて模樣縞柄地質織方等上中下を通じての變化四時絶ゆることなく其質に至りては

□百金の帶地珍とするに足らず千金の服裝敢て稀なりと云はず而も其流行を競ふの狂熱甚しく然るに此等の贅澤品は總て消耗品のみにして一期の流行を過せば年價を收むること難く自から庫中に埋藏して之れが保存に苦み時に引出して虫干を爲し世隣に誇るの愚に過ぎず其投ずるの價金は果して幾干なるや計算し能はざるべく國家經濟上より一家の經營上何の利することなく否な其得る利益を遲せしめ居る損害は計るべくもないではありませぬか妾しの日本に參りました迄は斯かる狀態は更に見ることを得ざりしに僅かに三十年の間に驚くべき變化を示して居ると云ふことは社會を攪表する貴族、時道に際會したる

□富豪の罪に歸せねばならぬと思はれます支那の古い戒言にも女子と小人は養ひ難しとか申すことがありますが此れは家庭の金言で自分が婦女の妾より此言の誰ならざるを近頃深く感じました過日も神戸に參り知己の人々に以上の如き話を致しますと何れも同感であると誠心以て贊同して呉れました妾しも永らく鎖時代から此年に成るまで過しましたる情義上日本の事と云へば生國の事の如く直覺的に頭に響いて是非に因り悲喜の念が浮びます夫れ故に服裝の事に就きましても先づ貴族の家庭より範を垂れて全然縞物模樣及び地質織方の贅に流れず質素なる物をのみ如何なる場席にも用ひ自然と矯正を計らねばならぬこといせねばなりますまい然るに先日も東京に參り大呉服店に某宮殿下御買上品、某家上納品杯との貼紙を附け

□可驚高價の物品を飾りあるを見まして妾しは心の卑みを望む高價の布を購ふ人かなと厭な感じを催しました『勤儉節を守り』とは畏くも民を慈む至聖の御意に非ずや學校に於てのみ校服を定むるも家庭に於て之れを守らずんば益なきことにして露西亞の今日あるは中流家庭の妻女が虛榮に趨り遂に主婦の意氣を沮喪せしめたるもその原因なりと

聞けり、日本の現狀を窺ふて興ひ來れる惡魔の手は日本婦人の肩を撫でつゝあるを知れりや(釜山)

●獨人驅逐
神戸には僅か十七人を算ふるに過ぎず

神戸在留獨逸人減少し現在十七名に過ぎず(大阪特電)

●二升以上は水の使へぬ
水攻めの堺市

水攻めに遭へる堺市は三日目より漸く一名に二升宛の配水を爲しつゝあるが益々困難の狀態にあり(大阪特電)

●愛蘭海軍工廠爆發
原因は過失に非ず卅五名死傷

二十五日メリアイランド海軍工廠に爆發起り三十五名の死傷者を生じたり原因は過失に非ざるべしと信ぜらる(華盛頓電報)

●「寺内大隈は俺の友人だよ」……と
妾を連れて一等車内で威張り散らして手の付けられない狂態 鐵道ホテルで亂暴狼藉

二十六日午後七時釜山棧橋發列車にて京城より一等室に乘り込み來釜せし紳士風の男妾らしき一人の婦人を連れ居れるが車中同乘の誰彼れの差別なく話懸け自分は大隈、寺内は親密の友人なり何なり希望の事業あらば紹介すべく必らず成立せしむべしと種々出駄羅目の

△大法螺を吹きまくり車を騷がす擧動確かに正氣の沙汰にあらず乘合客一同は非常に迷惑を爲したるが同人は釜山草場町二丁目土木請負業合田澤太郎(四十)と云ひ數年前より京城に於て同業者と共同し土木請負を爲し同人が主宰し居たりしに近來該組合面白からず此程同組合を解散すべく成行に立至りしより之れを心痛し遂に發狂の氣味あるより療養せしめしも遂に誇大妄想狂となり

△總督府 其他の官衙に至り種々手數を煩すことあるより其筋にては遂に高等刑事一名を附添はしめ四日釜山に送還し來りたるが下車すると直ちに釜山鐵道ホテルに入り宿泊を求めしも豫め其筋よりの注意ありし爲め體よく宿泊を斷りたるに同人は大威張にて同ホテルを出で妾お何を鳴戸支店に投宿せしめ自ら一人人力車に乘りて綠町遊廓貸座敷日韓樓及び安樂亭に揚りて例の大法螺を吹き立て十五圓餘の遊興を爲し同朝ホテルに引返し來り眞面目になりてホテル主任に向ひ自分を昨日普通列車に乘込ましめしは

△不都合なれば總督及び鐵道長官に談判の間なれば電話にて呼び出し呉れと强請し尙飯酒を迫るより一杯の酒を與へしに益々氣焰を上げ大言を吐き持て餘したるより其旨驛前派出所へ訴へ出で巡査の出張せしを見るや不禮者奴と暴行を爲しホテル備付の時計及び器具約二十圓の器物を破損したるに因り止むを得ず手足を縛し大八車に括り付け同人の自宅に送り屆けたるも同人宅にては兎ても保護の途なきに因り同夜八時三十分出港連絡船

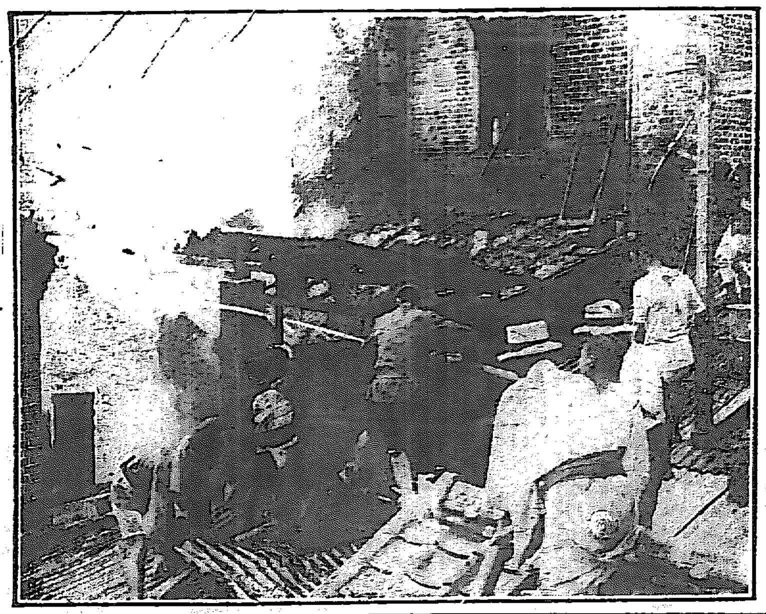
△新羅丸にて妾及び同人の小兒二名附添ひ原籍地なる東京へ歸したるが棧橋にては同人の强請に依り連絡船に人力車を横付せしめたるに前夜の仕拂を受取らんと追掛け來りし仲居は無一文の氣狂なりと聞き呆氣に取られ引取りしは一場の喜劇なりし(釜山)

●露天學校

基督教靑年會後援の北京社會實進會は政爭、黨爭を他處に國民教育の普及を計るべく昨今の炎天にも關らず各所寺院の綠林を選び日々露天學校を開催して附近の子女を集め國語修身を始め種々の教育を施しつゝあり、中には大人にて至る迄講師の話に耳を傾むくる者もありて仲々の盛況なりといふ寫眞は北京の慧照寺に於ける露天教育の實況なり

●太平通の晝火事騷ぎ
彌次馬の雲集 葉煙草乾燥室から出火

二十八日午後零時太平通三丁目五十八番地煙草製造業上海伊藤商行京城出張所裏手葉煙草乾燥場より出火し午後零時三十分鎭火したるが原因は葉煙草乾燥に際して乾燥釜の熱焰より室內に燃移りたるものにして損害は洋風煉瓦平家建一棟半燒損害約千餘圓、發火後時を移さず南大門消防署より蒸氣喞筒驅付け大事に至らずして消止めたり折柄白晝の事とて火事と聞きて彌次馬八方より集り來り一時は道路の押分けも成らぬ程なりしが乘馬憲兵の制止にて漸く道を開き德壽宮消防隊よりも應援ありしが周圍の建物が皆な煉瓦建てなりし爲め延燒も無く前記の如く僅少なる損害にて鎭火したり



大平通の晝火事

●五十三年間の僧侶生活 (三)
▲辛酸を嘗めて修業 金石翁のものがたり 秦 瞬星▼

「すると老師が佛畫を研究してゐられるあひだには隨分苦心談もありませうね？」と私は問うた。

「別にこれといふ程の苦心談もありませんけれども……ある時、私が或るお寺に呼ばれて、佛畫を書きに往きましたが、何うしたものか肝腎な右の手が痙攣で慄へて仕方がなかつたのです。それにその佛像は一刻も早く書き上げなければならなかつたのですが、何しろ手が慄へて何うしたら好からうかと、思ひに餘つて紙を前に置いて色々な心配をしてゐるうちに、一寸ウト〱したかと思ふと、一人の老僧が眼の前に顯はれて『手が慄へては困るだらう、どれ私が一つ癒してやらう。』と云つて、その老僧が私の腕を上下から扱くと、私の腕節から黄い液がドロ〱と流れるのです私は吃驚して眼が覺めて見ると、老僧もゐなければ、腕も元の通りで別に膿の流れた跡もなかつたのです。それから後は尙ほ一層腕が痺れてならないのです、これは何にかの罰に當つたのだとばかり思つて、私は非常に心配したけれども兎に角これでも書けるかどうか、一つ試して見やうと思つて、腕を揉み〱ながら筆を取つて見ると、不可思議な事には痺れるところぢやない、今までの慄へもすつかり止つて、大きな佛像を眼の前に書き上げたのです、その時私は心の中で、あゝこれは確かに佛樣の御助けに違ひないと思つて、それから後は少しは自信も得ました。それから方々の寺へ呼ばれて、佛像を書いてやつたりして、多少人にも認められましたが、自分は拙く出來たと思つてゐるものを、他人はみな上手に出來た〱といふのには、全く張合が拔けて了ひましたよ、自分も始めのうちは他人の書いた畫を見て全くなつてないものでも、これは上手と感服した事もありましたけれども、少し畫が解つて來るとどう可なり出來たといふ程のものを滅多に見た事がありませんでした。何しろ朝鮮には畫を本とに吟味して呉れる樣な者も居りませんからね……それに畫員(畫家のこと)といふものは、他人はその內容を知らないものだから、金は儲け次第にいくらでも儲けられるものです。例へばある處に佛畫を書くなり、或は佛像に金箔を塗りに呼ばれて往つて、費用を聞かれるんですね、すると例へばまあ十圓位ひで出來るものを、二十圓入るとか、三十圓なくてはならないと云つても相手が解りませんから、その餘分の金は皆自分の懷に入れるのです。それで皆畫員といふ者は、金を澤山蓄める者だから、死んでも極樂へは往かれないと、よく云つたものですよ。しかし私は何ぼ畫員でも正しくない金さへ儲けなければ極樂へ往かれない事はないだらうと思つて、私は決して錢一文だつて餘分の金を貰つた事がありませんでした。そうして自分だけは廉潔にやつて來たつもりです。」と、老師は佛畫家の生活の一端を語つて呉れた。

▼取消申込 當社大正六年八月二十七日發行第三千五百七十三號第三面に掲載の『店員の出奔』と題する記事中釜山大廳町共益社支店雇人酒井慶三なる人は當社雇人には全然無之何等無關係にて當方に於ても大に迷惑致し居る次第且つ事實相違の點も有之何かの誤聞かと存じ候間何卒本文御掲載の上該記事御取消し被下度候 共益舍

讀者文藝 (一等に五十錢…を呈す)

▼俗謠「俥」

○露の小萩を蹄に散らすゆるせ急ぎの俥令使(一等) 京城 チイ、ワイ生

▲軒を俥ふてとなりの南風うちの南風に逢いに來る 京城 高野浪越水

▲軒を俥ふて數道が咲けば月もどうやら煙い顏 利川 ふの字

▲嬉しい俥音聞く間もなくて切れた電話がうらめしい 利川 守山

▲腦の便りはむかしのことよ今じや背傳きくわゐな 京城 あづま

●課題及び募集規定

▲用紙は端書又は…同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は…住所氏名明記の…

商況

債券現物特電

二十八日出來値 東京

銘柄	値
東洋拓殖	一二八、五〇
京城電氣	五六、〇〇
朝鮮銀行	一五六、〇〇
朝鮮瓦斯	一一七、八〇
南滿鐵道	一四六、〇〇

東京公債直取引(特電)

二十八日出來値

銘柄	値
五分利特別	九六、七〇
五分利甲號	[illegible]
四分利	八一、六〇
一回四分	八二、五〇
二回五分	九六、〇〇

深川在米特電

二十八日現在高

朝鮮米	一一、七〇三
臺灣米	六一、八一四
內地米	二三、七五八

東京期米特電

二十八日前場 十月限

寄付	二一、五五
高値	二一、六五
安値	二一、五五
止め	二一、六三

大阪株式

銘柄	二十八日 拂込	前場	前日比
宇治川水	五〇、〇〇	[illegible]	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	[illegible]	—
東洋紡績	五〇、〇〇	[illegible]	—
合同紡績	五〇、〇〇	[illegible]	—
鐘淵紡績	五〇、〇〇	[illegible]	—
岡上新株	五〇、〇〇	[illegible]	—
東洋精糖	五〇、〇〇	[illegible]	—
大阪商船	五〇、〇〇	[illegible]	—
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]	—
同上新株	五〇、〇〇	[illegible]	—
堂島米穀	五〇、〇〇	[illegible]	—
東京株式	二五、〇〇	[illegible]	—
東京新株	二三、〇〇	—	—
大阪株式	五〇、〇〇	[illegible]	—
大阪新株	三、五〇	—	—

大阪期米特電

二十八日前場 三節

寄付	二三、三九
高値	二二、八四
安値	二二、八四
止め	二二、九七

下關期米特電

二十八日前場 天候 穩復安し

	當限	中限	先限
寄付	—	[illegible]	[illegible]
高値	—	[illegible]	[illegible]
安値	—	[illegible]	[illegible]
止め	二〇、二五	[illegible]	[illegible]

●一般消費力が果して此騰貴に堪ゆるや否や 第に騰高を告げて品難すべけむも…

●細布値下げ 綿布は內地の…一圓六十錢方下げ 値の十六圓七十錢で發表… 五圓見當 尙粗布は今暫らく形勢を觀望 稍人氣の落付きを待つて新値を發表せんとの事なり

●地場正米軟勢 昨日來更に惡化の傾きあり…一段の不勢に陷る 現に買急ぎ投げ物 漸次割安に逐込む 一時の人氣作用に止まり…

●荏子油の移出 再び之が移出を試み… 取引上の不便

●炭價は廿圓以上 移入は愈々困難の上廿圓處を唱ふるに到る 十一月以降は雜炭へ買ひ出し得ざる 雜炭の到着値は何れも廿四五圓に達す

雜報

●京城正米 更に一二十錢安 鮮白又二十錢安 何れとなく不快の市況を呈し…人氣の上に小動搖

●南大門の廻穀(廿七日)

鳥山白米 五四〇	平澤白米 五四〇	[illegible]
中和粳麥 三〇〇	平澤白米 九一〇	[illegible]
沙里院大豆 一三〇	全義大豆 [illegible]	
黑石大豆 九六〇	鳥山大豆 一二三〇	
鳥山白米 三九〇	興瑞小麥 五六〇	
平澤白米		

●釜山穀物(廿七日) ▲正米保合 本邦大阪定期米は小…

●市場零聞 ▲依然動かず ▲當限解合內 ▲受渡高も二萬石以上ならんとの事 ▲新米格付改正 上げ十二月限より二十錢づゝ累加し翌年二月限に至つて九十錢 ▲手仕舞商內

仁川米豆取引所仲買人 ㊂仲買店 主任 西川平治郎

●仁川米豆取引所 二十八日の十月限

寄付	十九圓十六錢
高値	十九圓十七錢
安値	十九圓十四錢
止め	十九圓十七錢
出來高	一萬六千六百石

●生果市場

●十限の前途觀 ●現下の大問題

●仁川期米 ▲二十八日前場(動かず) 大阪天候 晴天

●生魚市場 ●釜山水產市場(二十七日)

㋑ 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三七番

●市場零聞

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全 高田仲買店 ●定期米賣買委託 ●電信略號表御一報次第御送呈 ●前金御注文は紹介を不要候 仁川海岸町三丁目 電信略符メタ 振替三八一一 電話長一〇〇 電話長一一九

●家田女 成興成鏡南道咸州東面居載里[illegible] 如何しても年期奉公の濟む迄働かせられずと申立てたりと

●[illegible] 金二百圓を運動用具調製費として寄附せり

●連絡船上陸客 二十七日入 之助、同さき、形部喜次郎、服部照、松本[illegible] 同弼、金道砂子、原田[illegible]、同博治、前川[illegible] 吉川友信、小島慶次郎、佐藤うら、同千[illegible] 明納久太郎、服部國太、伊藤[illegible] [illegible]

來れ觀月會へ

團體の申込續々たり

漢江々畔の觀月＝清凉里の活動寫眞＝半夜の清興之に勝るものありや

朝鮮の秋は朝鮮の四季中最も誇るべき氣候である澄みに澄んだ蒼空に懸る明月を仰いでは心なき身にも歌となり詩となる天心一碧水の如く晃々たる明月は浮ぶに似て其の諷は光の凝つた銀鈴の樣な星の瞬き——サラ〳〵と梢を渡る風にも季は既に秋に入つた

♣秋！秋！九月一日 は丁度初秋十五夜の明月である仲秋の觀月は朝鮮では聊か冷氣を感じ過ぎる朝鮮の觀月は初秋の明月に限る京城日報と毎日申報とが主催となつて愈々九月一日の夜觀月會をやる事は既報の通りである月を觀月を賞するには第一に場所である山上の月も好からう江上の月も好からう而しならう事なら其れを一と場所とした處が

♣觀月に理想の場所 とせねばならぬ其處で兩主催者は京城附近で最も觀月地として適當な而して古來から觀月の名所となつて居る漢江沿岸を選んだ譯である參會者は勿論何人を問はず歡迎する先づ九月一日夜の九時南大門驛に用意せられたあつさりと裝飾した多數の

♣列車は參會者を乘せ徐々に進行を始めに時既に月は地上を距れて天の一方を彩り南山の靜かな山姿が黒く悠々と浮び出る龍山驛から京元線鐵道に入ると右方は茫漠たる大砂原で遙かに點々として漁火も見へる汽車は之から大徐行にあつて靜かに〳〵江畔を觀る

♣西氷庫邊で暫時停車し て心ゆく計り月を眺める此の邊は有名な觀月の名所で右方前面には魔の如く黒く冠岳が澄んだ中空にそゝり立ち月は江流に浮んで銀鱗跳る眞に絶景である而して車は江畔を徐行して近く纛島平野を照らす月を賞觀しつゝ極ゆるやかに清凉里驛に到着する其れから閑靜で幽邃な清凉里森林の月を眺め散歩もつゝ

♣市外活動寫眞場に 行く 場は驛から直ぐで松林の下草生茂る處で同所は能く展望の利く處であるから一方觀月場としても申分ない所だ其所で愉快な活動寫眞が幾枚も映寫せられる邊には各種の賣店が皆夫れ〳〵趣向を凝して客を待つ一同思ふ儘半夜の快遊を試み解散歸途に就く筈であるが會費は僅に三十五錢（十二才未滿は二十錢）で汽車電車賃は皆主催側の擔當である何と

♣安價で且清興多き 會で はあるまいか此の計畫が發表せらるゝと共に清凉里普植園は此の擧に贊成し同園培養の美麗な草花三百本と種子三百包を寄贈し當夜の參會者に分配方の申出があつた又たサツポロビール販賣店からは四百名の團體參加申込がある此の他三井や瓦斯會社や銀行會社からも續々團體申込がある當夜の盛況は充分推量する事が出來やう

漢江々上の明月

●阿片密造犯人悉く逮捕さる

成北鏡城郡朱乙温面甫上洞に於て銃器携帶の阿片製造犯人朱乙温揚憲兵派遣所にて二名檢擧せし事は既報の通りなるが詳報を記さんに甫上洞民嘉谷の森林を根據とせる事を突き止めし憲兵所にては捜索隊を編成し本月八日午後七時より捜索に著手したるに翌九日前記の個所に犯人の起臥せる假小屋を發見したれば其夜十一時卅分を期し同小屋を包圍し銃器を押收の上初め九名の内二名を逮捕し數日後逃走せる七名は間もなく捕縛したる由首魁者李仲國外二名は同地より一昨年十一月茂山間島に移住せるものにして同地方の地理に通せるより猛獸豫防及び憲兵の來襲に備ふる目的を以つて銃器三挺を携帶し本年陰二月十五日間島出發來山路を辿りて二十五日前記の場所に到著し二千坪を開拓し罌粟を栽培し居たるが本月初旬結實期に及んで附近の鮮人八名を雇入れ二日より液汁の採取を開始し阿片煙の製造に著手し居たる處を逮捕されたるものなりと（清津）

●何うすれば腹が減るか

▽米と肉は何れを先に喰べればよいか

吾々日常の食事を攝るに當り、一定の分量を喫して案外腹が張る時と、更に腹の張らぬ事があるが之れは食物の攝取する順序を前後するから來る現象であるから、喫べ方に依つて腹が張つて氣持ちの惡い思ひをせずに濟む事が出來るのである

◆普通吾々の攝る食物は ◆含水炭素と蛋白質と脂肪の三つに大別が出來る含水炭素とは米、麵麭、馬鈴薯、薩摩芋等の植物性のもの、蛋白は代表的のものとしては總ての肉類、及び植物性のものとしては豆類又は豆腐の如きものである、脂肪は云ふ迄もなく總ての油類又は天ぷらの如きものである、此中人體榮養に取つて殊に必要なのは、含水炭素と蛋白即ち肉類である

◆以上の兩者の同じ分量を別々に喫べるとする ◆腹の減り方が大に違ふ、例へば米や麵麭の一定分量を攝ると、約三時間で腹が減るが、肉類の同分量を喫べると、腹の減り方が遲い事は、普通人の能く經驗する所で、即ち腹が減るまでには約六時間は要るので其消化時間に於て三時間の差がある脂肪を喫べるのも矢張り肉と同樣の腹の減り方となるのである

◆然らば之を混食した ◆場合は如何なるかと云ふと、其喫べ方に依つては大に違ふ、一體嚥下した食物が先づ胃に入る順序は最初喫べたものが先づ胃の下部に落付くと其後に嚥下されるものは其上に重なり合ふのであるから、米や麵麭類を先に喫べて先胃の下部に落付かせ、夫れから肉類を喫べた場合には、約四時間で消化して胃は空となる、之と反對に肉類を先にして米麵麭類を後にすると

◆消化し盡して胃の空虚 ◆となるのは約六時間の後であると云ふ事は、米國のキヤノンと云ふ先生が多くの動物實驗に依つて調べたものである米や麵麭馬鈴薯類と共に肉類を喫べる場合に肉を先にして次に麵麭類を喫べると消化時間は極めて遲いが米や麵麭を先にして肉類を後にすると消化時間が早い、何故かと云ふと、米、麵麭等の含水炭素類が眞先に胃の下部に落付くと、

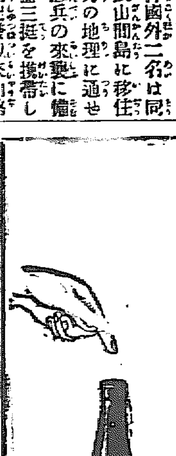
◆十分乃至十五分後には ◆徐ろに胃を離れて腸に送られ、其大部分は腸で消化されるから胃腑は後れて嚥下されて來た肉類さへ消化すれば可いのである、從つて胃の空になる時間が早い、之と反對に、肉類が先づ胃の下部に落付くと、暫時其處に停滯して、消化作用が行はれ約三十分後になつて少許づゝ腸に送られる、

◆其爲めに自然と胃の ◆空虚になる時間が遲く なる譯である、我々日本人の食事は全然混食であるから、未だ能く調べた事はないが、消化時間は約五時間を要する、此故に徒歩旅行又は遠足等に出掛ける場合に當つて、途中に辨當の用意のない時なぞは先づ肉類を充分喫べてから次に米、麵麭類を喫べて行くと、途中に於て空腹を感ずる氣遣ひがなく或は晝飯拔きで歩いても、腹が減つて困るやうな事はない筈である（米國醫報）

麥酒は何にを飲むか

天下に定評ある

キリンビール を召上れ



錆の砂

●寶生會例會 京城寶生會にては九月二日午後一時より旭町有明樓に於いて例會を開く番組は敦盛、七騎落、楊貴妃、張良

■豪氣な三少女 和歌山高等女學校生徒貴志ひさ子（一五）鵜木しづ子（一五）岸上みよ子（一六）の三名は男子と伍して紀州の霊峰……砧母なり

八尋を詠ぎ切り……の分絶をさへ受けなかつた

■地底の怪 長野縣上諏訪町では此の間突然地面が隆起して龜裂の個所から小石を噴出し人々の心を寒からしめた

■亂暴な猩々婆 熊本市五十人町相川みつ（六二）は晩酌の酒量が殖ゑたとて酒代を強請し聽入れぬとて伜に出刄庖丁で斬り付けた

■女大學生 理學藥學の長井博士門下のオ媛で理化學專攻の女流教育家神林市女史（二五）は上田萬年博士の推擧で東京帝大の聽講生となり松本亦太郎博士の指導を受け心理學を專攻すべく九月一日から許可を得た女子で赤門を潜るのは女史を以て嚆矢となすと

■三動物の大亂鬪 鹿兒島縣日置郡伊集院村米永久太郎方の家で飼つてる犬（三〇）が二十一日村の畑で桑草取りをやつてゐると近く傍で開闢六寸長さ五尺ばかりの大蛇と鼬ヽ鷄とが入り亂れて大格鬪を演じ蛇は鼬を巻きつき鷄は鼬に助勢して居るからだけは有合せた棒を以て蛇を叩き殺した

今日の料理

▲蒸し南瓜 南瓜は極く小さいのを撰びまして蔕をくり取り中の物を出して置きます別に挽肉を摺鉢にてよく摺り食パンを水に浸し絞つたのを加へ玉葱のみぢんをも加へて……つたのを布巾で絞り肉のなかに交ぜ煮汁と酒砂糖醬油でどろ〳〵にとき之に浸かが三葉を切り込み交ぜ合せ南瓜の中へ詰込切口を……して竹の串にて十文字に結び其儘蒸籠に入れて蒸し……の煮汁をたつぷり入れ酒砂糖醬油みを入れて柔かくなる迄煮込み器に取り残の汁へメリケン粉をとき加へ一と煮立してかけ……

淨瑠璃界

▲攝津大掾の娘婿竹本……夫の始祖竹本義太夫の……東京……十月……太夫（……）……演するそうだ▲又東京では近々男義太夫合同で革新興行といふのをやるそうだが太夫の顏觸れは播磨、津賀太夫、鶴澤……攝、三味線は猿之助、駿左衞門、仙十郎等である▲東京は昔から女義太夫の盛んな處だが何うも既が男太夫は振はない……今度の革新興行も大方こんな事が起因となつたのであらう▲南鮮に住む義太夫……大阪の以前近松座に出勤してゐた中老格の某太夫招聘の交渉……ったところ共太夫なか〳〵掛引の旨い男で……京城に來れば……浄瑠璃社會に關つた話ではないか

演藝案内

黄金館 電話二三六六 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店

△八月二十九日より京城全部差替 ○新連續活劇『魔の影』……

大正館 電話八七三 營業所 ……特別大寫眞

○米國……劇 第二回 ○○○○ 雪の珍……治行……全二卷

有樂館 電話……早川演藝部直營活動寫眞常設館

浪花館 電話二六〇 明治町 △大阪親友派浪花節 ……

軍隊毛布

夏は毛布の買い時である 季節はずれではあるが本社が露國軍隊防寒用毛布の注文遲れを兵迄の倉敷と金利を要する爲五千組限り年期決算の都合上鼠毛布二枚續一組原価の直段なる一圓九十五錢で御注文に應ずれば此際至急（ハガキ）にて申込まれ受付順に引換郵便にて發送す 多くになれば五圓以下では買ぬ品である 東京神田 振替東京七三四六番 東京織物仲繼店

高價買入所 まるや 罐詰、乾物 卸 釜山大廳町 山西義一商店 電話七〇四番

謝失火御見舞 弊店本日附屬煙草乾燥室より失火の際は早速御馳附御盡力被下幸にして大事に至らず一鎭火仕り候段奉深謝候雜々拜趨之折柄御禮申上可之處踏計乍略儀紙上を以ても御厚禮申上候 上海 伊藤商行京城支店 太平町二丁目 電話二八六九番

近火御見舞御禮 更科支店 太平通二丁目五十八番地 本多質店

謝近火御見舞 太平町二丁目電話一六二九番 石炭商 井上商店

謝近火御見舞 京城北米倉町 軍隊 メリヤス雜貨商 村上商店 電話一壹一貳番

近火御見舞 京城太平町 羅紗 洋服部 富田屋 （電話七二二番）

謝近火御見舞 京城太平町 雜貨商 吉田太藏 菓子司 橋本金之助 内田道之輔

謝近火御見舞 京城太平町（電話二九一三番） 紙袋問屋 油紙 高橋支店

店員募集 二十歳前後より二十五六歳迄呉服商に多少の經驗ある人 但し市内に保證人を要す 京城本町一丁目（電話四八三） ますや呉服店

大麥購買 詳細八八月貳拾九日以降朝鮮總督府官報ニアリ 龍山陸軍倉庫

用事ある 居所しらせ 大阪瓦町三 廣瀬恒吉 福嶋保太郎

公告 當會社株式第五回拂込金（壹株ニ付金五圓）未濟ノ方ハ拂込金百圓ニ付キ一日四錢ノ延滯利息ヲ附シ來ル九月拾日迄ニ御拂込相成度萬一右期日迄ニ御拂込無之ニ於テハ以後株主タル一切ノ權利喪失可被爲候仍テ此段公告候也 大正六年八月貳拾五日 大阪市北區曾根崎新地三丁目四拾七番地 朝鮮煙草株式會社

▼朝鮮諸官廳受驗叢書▲全部完成

京城專修學校敎官 安達大壽計著

▲諸官廳 朝鮮受驗提要 全一册
▲必携 朝鮮公文解釋 全一册
▲必携 朝鮮六法要論 全一册
▲必携 朝鮮行政法規大意 全一册
▲受驗者必携 朝鮮會話譯文速成 正續 全二册
▲受驗者必携 作文軌範 全一册
▲前高等普通學校敎官 阪上桐吉著 朝鮮諸官廳 法律問答 全一册
▲受驗者必讀 法律講義 （大倍）全一册（特價七十五錢）

以上定價金各四拾錢 送料各一册金四錢（法律講義は定價送料二倍）

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適切なる事項は全部之を網羅し而も當局者の方針に據り極めて懇切明確なる解答を施したるものなれば受驗準備書として最も適合せること到底他に其類を求むべからず以て何れも發行以來當々たる好評を博し凡そ受驗者として此等の書を手にせざるもの無きの狀況を呈せり故に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官、判任見習、雇員、巡査、看守、其他各種の資格並に採用試驗に應ぜんとする諸彦は宜しく本叢書を座右に備へ以て各受驗科目學修上の迅速と正確とを期し登龍門を踏する資格を一日も早く有し給はんことを希ふ

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

製造元とのやくそくで 砂糖、麥粉、貝、金巾、煉寸、石油、洋燭、鋼金、紙類、乾物、罐詰、ビール、サイダ、ー、葡萄酒、淸酒、醬油、染料、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品 割の安い品そろいの 大おろし店 仁川本町 河野本店 電話八二番 振替京城一二二番

朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 振替貯金口座京城三三二番 電話一六三三、一二六一 支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村 出張所 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前） シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

内科 小兒科（入院隨意） 京城櫻井町 池上醫院（電二二七一番）

艶製造販賣 皮より強い値の安い 專賣品柳製鞄 日ノ丸國旗附屬品 毛布一枚續き 三圓五十錢以上上物色々 防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

内科小兒科 婦人科眼科 京城南山町二ノ四六（三越合宿所上） 一元堂醫院 電話一壹二四番 小山亭

池田季雄 イケダ小兒病内科醫院 京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）八二三（自宅）八八〇

左甚五郎

第十一席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

甚五郎は大口開いてカラ〳〵と笑ひ 甚『俺は番匠だ』喜『ヘヱー、番匠、甚『大工だよ』喜『ヘヱー大工さんで、何うも大工さんとは思はなかつた。職人などといふものはもう些とハキ〳〵して居るものだが、いやにデレ〳〵としてまア宜うございます。お前さん一文も無いといふなら仕方が無い。手前共でも彼方此方手を入れる處があるから一つお前さんに遣つて貰ひませう。今までの様に大胡坐を拵いてあれを持つて來い是を持つて來い、お職が悪いすぺッた難作だ云ひぐさばかり云つちやア困る。尻切手甑一枚で一つまアミシ〳〵仕事をして勘定を稼ぎ出しておくんなさい 甚『宜し〳〵それは承知したが、然し何うも臺所の下流しを繕へ、戸袋が何うだ、そんなとは御免を蒙りたい、つまりお前に擱さへ掛なければ宜いのだ、飲み喰ひした代を拂ひさへすれば宜いのだ。決して迷惑をかける氣遣はないから御亭主安心をさつしやい。是から旅籠代の稼ぎをする、あの向ふに竹籔があるが、中で性の宜い竹を一本持つて來てくれ 喜『竹を切て何うなさる 甚『何うしても宜い、俺が一つお前の家へ旅籠代の錢を拵へるから 喜『何か細工を爲やうといふので宜うございますか

遊んで居るより増だ。何を拵へるのだか何うせ家にある、竹だ一本お前さんに上げる、何かまア拵へて御覧なさい』と庭の竹籔にございます性の宜い竹を一本切て椽側の處へ持つて來た 甚『宜し〳〵其處へ置いておくれ、是から一ツ細工に取かゝらう』と右の竹を切て一室へ入つて何かコツ〳〵遣つて居る。夕方になつて喜兵衛が其處へ遣つて参り 喜『何か出來ましたかね 甚『出來た、鳥渡是を御覧』見ると竹籠の尖に團子見たやうなものが附いて居る 喜『何だね是は 甚『見たら判りさうなものだ 喜『然うさね、竹籠の尖に團子が括うくツ附いて居る。葱の化物かね 甚『冗談云つては叶けない。水仙だ 喜『ヘエー水仙、然う云はれゝば然う見ゐろ 甚『是を花活へ水を一ぱい入れて置いて挿してお置き、夜中に又水を入れろ 喜『ヘヱー夜中に水を注すのかね 甚『店へ飾つて置いておくれ 喜『『つまらねえ物を拵へたものだもう些と氣の利いた物を拵へたら質れるだらうが、遅麼物に手間をかけるとは一日かゝつてこんな物を一ッ拵へたつて錢何の稼ぎも出來やアしねえ、妙な物を拵へたものだ』と愚痴をこぼしながら其の竹籠を花活に入れ水を注して帳場へ置いて種々用があるによつて忘れて居りましたが、フト氣が附いて、ハテナ後に水を入れろなぞと云つたが、何ういふ譯かと思ひながら見ると、コハ如何に竹籠を削つた水仙だが水をヅワ〳〵と吸上げますから一ぱい汲で置いた水がだん〳〵減る是を見て喜兵衛が 喜『こいつは奇妙だヘヱー成程何うも竹籠の水仙が水を吸上げるといふ是は何も不思議なとがあるものだ』と跡から水を注ぎ足て是を店の正面に大黒柱がある其處へ恭なしく飾つて置きました。往來の者が是を見て ○『何だつてあんな物を正面へ掛けて置くのだらう。外聞ないではないか』云ふのを聞いて喜兵衛が 喜『是は竹籠の水仙でございます ○『ヘヱ水仙ですかね、俺は又葱かと思つた 喜『不細工ではありますが、水を吸ふ處を見ますと生て居ますやうで、今此の花が開くと云ひますが ○『冗談云つては叶けない、竹で拵へた花が咲く譯はありますまい 喜『處が今に開きます、まア此方へ上つて見てお在なさい』と云つて居りまする内、不思議なるかな此の竹籠の水仙が水を上げて花を持ちました。

新築落成
京城明治町一丁目
入院隨意 胃腸病院
院主 佐々木杏造
電話一六五九番

牛乳 御用
京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

八月三十日 九星
舊七月十二日 甲辰
本命八白 艮 成 先勝

▲八白 大力身の事有日所付て新事見合の方は吉婚姻良 ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible]

▲書籍御案内▼

著者	書名	價	郵稅
德富蘆花	外交奇譚	定價二五	郵稅〇四
同	自然と人生	定價三〇	郵稅〇四
同	青蘆集	定價二五	郵稅〇四
同	青山白雲	定價二五	郵稅〇四
同	探偵異聞	定價二五	郵稅〇四
德富猪一郎	世界の變局	價二五〇	郵稅一八
松林伯知	御前講談	價七五	郵一〇
桃川如燕	理想の家庭	價五〇	郵〇八
國民新聞社編	撞球指南	價一五〇	郵稅一〇
王乃熊	同 月江和尚錄	價一〇〇	郵稅二〇

京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

野中元山 北龍馬川 共著

鎖夏第壹──夏の好讀物

女のはらわた

（女のはらわた）は不幸の厄に遭ひぬ。發賣禁止●●●

本書は「女のはらわた」の姉妹篇として更に改訂増補出版せしもの。家に外に海に山に本書を讀めば暑さを忘る、

口繪
▼女學生▼藝妓のてこまへ姿▼未亡人▼細君▼女郎▼お妾▼淫賣婦▼女優▼女教師▼看護婦▼女記者▼山の神▼電話交換手▼下女▼女事務員

本書の內容一斑
●處女の神秘 ●女學生の新思潮 ●藝者の手管 ●細君の現代氣質 ●女郎の手練手箱 ●妾の底意 ●私娼の暗黒面 ●女優の濡れ幕 ●未亡人の厚化粧 ●女教師の獨身主義 ●看護婦の實意 ●女記者の怪氣焔 ●電話交換手の盗み聽き ●山の神の天下 ●下女の大不平 ●女工の危險思想 ●女事務員の眞情

四六判紙數二百五十頁口繪石版數葉挿入美本
定價金七拾錢 郵稅六錢 書留小包送料內地八錢

發兌 東京小石川戸崎町三十 龍川社 電話小石川八二三番 振替東京三七五五八

ゴルフの

キキメを疑ふ人ありや？
モシありとせば
先づ此禮狀を一讀せよ！

ゴルフはナゼコンナによくきくか

ゴルフは最も完備したる工場に於て優秀なる技術と多年の經驗とを有する博士學士が有名なる消化劑タカヂアスターゼを主薬とし之に胃腸病其他營養不良の人に効能顯著なる三共の最新醫藥を調合して調製せしものにして數多の胃腸病患者及び營養不良の人、根氣なき人に實驗し効能確實なりと認めて發賣せしものなれば一時凌ぎの賣藥と異り一度服用せば其効能偉大なるに驚く

主治 胃腸病一切、過飲過食、水あたり、食あたり營養不良、身体虚弱

効能 ゴルフは一度に澤山服用しても差支なき美味の健胃劑であります

定價 二十錢 四十錢 一圓 全國藥店にあり

此禮狀は神戸市兎原通一の一五二山根一夫氏よりの來信なる其儘寫せしものなりこの他禮狀澤山來て居ります

東京日本橋區室町三丁目
泰昌製藥株式會社
振替口座東京二七五七〇

新荷著
スキオル製 アンクル懐中時計

懐中時計（▲印はラヂューム入）
腕巻時計（▲印はラヂューム付）

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

花柳病外科專門
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱ヒステリー●
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院
電話三〇六五番

ライオン歯磨

値段改正に付謹告

拜啓 新秋の候各位愈々御清適の段奉賀候弊店幸に日增し繁榮仕り江湖の御厚情に對し鳴謝罷在候

却說歐洲大戰以來其影響する所財界業界は勿論物價の昂騰工銀の値上等我ライオン歯磨にも及びて到底在來の値段を保ち難く本日より左記の通り値段改正の餘儀なき次第に立ち到り候間刻下の事情御推察の上不相變御愛用願上候

▼ライオン歯磨大袋壹個に付 金壹錢値上げ
▼ライオン歯磨小袋壹個に付 金五厘値上げ
▼ライオン歯磨桐箱壹個に付 金五厘値上げ
其の他總て値上仕り候

大正六年八月廿五日

ライオン歯磨本舗 東京市本所區外手町 小林富次郎
支舗 大阪市東區博勞町二丁目
地方倉庫 名古屋市桑名町四丁目

値上謹告

美人となる家庭化粧料

ホーカー液

小瓶 一本につき 金壹錢
中瓶 大瓶 同 金貳錢

右八月二十八日より値上實行仕候

濃厚白味劑の嚆矢にして近世化粧料の先驅を爲したるホーカー液は品質の優秀と効果の卓越とを以て中外の聲望を一身に聚め、需要激增當代無比の觀を呈し申候事厚く御禮申上候

然るに戰爭勃發以來經濟界の亂調益々甚しく原料其他の生産費暴騰に暴騰を重ね、今や從來の品質と聲望とを護持し益完璧を致さむには勢ひ値上の已むなき場合と相成申候四圍の情況篤と御諒察の上何卒層一層の御愛用只管懇願奉り候也

ホーカー化粧品本舗 東京神田和泉町 堀越嘉太郎商店 電話神田一五四〇 振替東京六五四三

京城日報

第三版

下關特米特電

仁川期米

▲二十八日後場 ▲大阪前止各地後場未着なるも大阪十一圓九十四錢止め八十八錢の移り十九圓四十五錢より三十五錢[illegible]

▲[illegible]

[illegible]他の買ひに五錢と押して[illegible]大阪後場九十五錢と高移りに手仕舞買物が店より現はれ八錢と返して數合を有げたり市況は此月末に現はれたると電報未着にて氣乘りせず小仕舞物は內にて買保合を持續したり不知今後

▲市場氣乘薄

此の月末に際したる大勢の[illegible]に附隨せず保合を持續し居るより小口手仕舞戰に土まり市場は[illegible]無乘り薄にて大阪の[illegible]なる報あるも一向發展せず一般の人氣は見送り勝ちにて新市發會を待つ者の如し先必竟十月限は[illegible]

▲天候回復乎

▲鳥山大豆十四圓七十錢滿州大豆十一圓四十錢延安小麥十圓七十五錢等にて出來たり　前日來夕立日和にて[illegible]報ぜられたるも[illegible]一時晴と報じ居る[illegible]復したるには[illegible]なきか

平均　一節　十九圓十六錢
二節　十九圓十六錢
值段　三節　十九圓十六錢
四節　十九圓十七錢

◉露國製糖激減

露國製糖業は大戰の影響を受け去る一九一四年より一九一五年に亙り生產次第に減少し一九一四年以降累年[illegible]一九一七年中に於ける甜菜耕作反別は五十五萬七千デシヤチン(一デシヤチンは我が一町一反四八)なれば一九一七年より一八年の生產高は六[illegible]故に[illegible]の[illegible]り供給を受けつゝありと

李朝代々の實錄(三)

宣祖實錄の改訂=史官の曲筆=光海日記の草本=仁祖日記の改修

淺見倫太郎氏談

何人も面白き事蹟を發見すべしと期待せる李朝實錄中の第十四代目宣祖大王實錄に付て言へば案外で、此の實錄は頗る不完全な實錄である、全部百十六卷だが、一卷の紙數は大小不同のものである。而して序卷第一葉の下に次の通りの細かい註が記されてある。

「不幸遭壬辰之亂、二十六年之間、云々、簡冊所記盡歸灰燼、無復存者、今因諸臣家藏日記、雖收拾若干事情僅成偏秩、而什無八九云々」前後七年に亙る壬辰役の事は第十三卷から第六十九卷までに記してある特に壬辰の事は僅々四卷だけだ。一寸其第八冊を見たるに卷四より四十二卷迄を包含し其末に宣祖大王實錄修正凡例といふものを附してあるが、其の中にこの實錄は壬辰以上は日記なし今ま野史を以て採輯せるものなれば、日を逐ふて記す樣にはいかぬとか、姦兒の曲筆を削り修正する次第を叙し、上即位之九年右議政沈之源の請ありて修正の役を擧るに至るを叙し、次に金堉に命じて其事を領せしめ尹順之李一相及び臣裕後(李裕後自から言ふ)等に分命して李植著はす所の舊例に依り踵て之を成す宣祖在位四十二年李植の修正せし所は丁卯より丙申まで三十年間なり今編纂する所は丁酉より戊申に止るの十三年なり云々とあり、次に李植の上疏文を揭げてある。

李植の上疏は奇自獻、李爾瞻、朴楗を黜せるものにて先朝の誣史を極言し今國未亡而史先亡などの語であり宋高宗の時史官范冲をして國史を改修せしめたるなど引例し朱墨史の稱あること當時張拭(張南軒先生と稱する學者)の如きものも贊稱せるとなどまで引例して居る。外患息みて黨爭起るといふことは當時の史外の態史である。此の宣祖實錄は右の如く改修を加へたものながら改修前の實錄も其儘に印刷してあつて其の末卷に百卷之二百二十一の末に入枚の與書がある。卽ち萬曆三十七年七月十二日春秋館奉教數好撰萬曆四十四年丙辰十一月畢撰とし前後編輯に關係せし者の官氏名を列記し奇自獻、李恒福、李好閔、李爾瞻、李廷龜、鄭昌衍、金尙容、金瑬、丁好寬などの名が見はれて居つて萬曆四十四年十一月日進(計一百十六卷)と出板の年月日を明記して居る、朝鮮本に出板の年月日を明記して居るものは實錄に限る此時代の活字の粗惡なることもわかる、表紙などの體裁も此時代までは皆青表紙であるが仁祖實錄以後の實錄は黄表紙となる殊に顯宗實錄以後の實錄には卷末に編纂官の官氏名を列記せず又撰進年月日の記載もない此の後の史官は餘り直筆など矢釜しくことを止めたものとも見れる。

顯宗實錄の活字にも書體の變遷ありて顯宗實錄の活字は最も洗錬なるの感があるが、四角張りたる康熙字典風の活字となつたのである。其以前の活字は實錄活字でも明風の楷書で、所謂大明會典體の第何卷かにある字樣を軌範としたものかと思はれる、俗にいふ衛夫人體の活字に屬すべきものであろう。話が筆法に外れた。さてまた第十五代目は光海君日記百八十七卷で四十冊あるが、此の王は宣祖の第二王子として曾て加藤淸正に捕へられた臨海君と琿との中の琿といふ名である。後廢王となつたから何々大王實錄の名稱がないのである。此の日記は草稿其儘のもので墨書に朱抹を加へた儘のものである=記事は宣祖四十一年(大明萬曆三十六年)戊申二月初一日戊午といふ文例を以て始まる、其一月を朱抹して硏とした樣な調子に改竄を加へてある。卷末の五枚計りは、仁祖王が卽位する時の大處分を記して居る。

次に第十六代目は仁祖大王實錄五十卷となるが、此の王以下の實錄の裝釘は前述の如く表紙が黄色になつて猶ほ印刷も十五行三十字詰のものを變つて居る。これは書物の體裁の上に注意すべき事であらう。次に第十七代目の孝宗大王實錄は廿一卷、第十八代目の顯宗大王實錄は廿二卷と他に一冊の誌文を記したものとがある。

また玆に體裁の上に注意すべきは第十九代目の肅宗大王實錄で此王以下は永くなしき諡號附となり又此王の分は每卷に補闕の卷がある、全部六十五卷第二十代目の景宗大王のが十二卷英祖のが百廿七卷、此王以下紙は別紙上等で且つ厚いから斤量の增す譯である。第廿二代目の正宗が五十四卷、第廿三代目の純宗が三十四卷(正宗も純宗も李太王との關係で祖と改めたが實錄には宗である)第廿四代目の憲宗大王八卷となり第廿五代目の哲宗大王實錄は僅かに前後二卷で最後の實錄である。李朝の二十六代目が現李太王殿下で第二十七代目が李王殿下となる譯であるが此の時代の事蹟に至りては『承政院日記』や『日省錄』に就て見ることが出來るのである。

遣露米使節の告白

=ルート氏一行の使命=

先きの米國々務卿ルート氏が特使として露國に往復したる事、而して其の使命の大要は那邊に存せしかは讀者の知る所ならむ最近到着せる露都發刊商工新聞(七月四日發行)に遣露米國特使より露國民に致せるの辭を掲載せるが右は一行の任務を公表せるものにて、如何に米國が友邦露國の爲めに努力せむとするかを察すべく又本紙が過日「ハザマンの書翰」と題して連載したる記事と照應して興味深きものあらむ、全文左の如し

米國鐵道使節は北米合衆國政府の委任を受けて我國に派遣せられたるものにして露國鐵道が戰爭に依つて蒙りたる至難の輸送問題を解決せん爲めに應分の助力と技術上の指示を致さんとするものなり、幸ひ本日は祖國の獨立記念日に相當するを以て生等の任務を公表すると同時に今日迄に致したる所を露國民に告げんと欲するものなり。

露國社會は之に依つて北米合衆國が聯合與國と提携して、自由民主の勁敵を殲滅せんと努むるものなることを信ずることを得べし。

使節の瀝露は既に五週を閲したり、此間露國鐵道當局と共に鐵道問題の諸方面に亙りて自由なる審査を遂げたるが、到る處に於て熱誠なる厚遇と助力を添ふせり。

使節が最も滿足に感ずる所は露國鐵道從業員が、優秀なる技能を具有し居るを以て鐵道作業が正確に進捗しつゝあることとなり。一般に露國鐵道は無限の鑛產と多數の住民に支持せられて確固たる基礎を有せり。されど露米の完全なる實際方法を融合して露國鐵道業に適合せしむる時は露國鐵道經營は一層の發展を見るに至るべし。是れ露國鐵道技師の一致する所にして生等の提出せる改正案は悉く承認せられたり。

其改正案を擧ぐれば左の如し

一、列車の編成を一層合理的にして車輛の配給を一層有效ならしむる時は業務の管理を全うして機關車と車輛の徒用を絕滅して輸送力を增大することを得べし。

二、浦潮斯德に鐵道組立所を設くるときは米國より輸送せらるゝ部分を直に組立つるを得て機關車の運轉を迅速ならしむるを得べし。

三、目下非常の必要を告げ居れる機關車の修繕を迅速ならしむる爲めに製作所の業務を間斷なからしむべし。

四、他の鐵道より借用せる貨車一日の使用料及び貨物積卸に關聯し貨車運轉停止に對する料金を二倍にして車輛の不生產的停滯を防止すべし。

五、新たに中央材料局を設置して車輛運轉の休止を防止するに必要なる材料及び部分品を供給せしむべし、而して局長には自己の所存にて從來の材料全部を使用すべき權利を賦與せざるべからず

六、機關車及び貨車を增加するは露國鐵道の必須條件なると共に軍隊及び公民が熱望して歇まざる所也

使節は以上の件に關して露國政府及び露國社會と全く見解を同うするものなり。

使節は斯の如き焦眉の急に應せん爲め華盛頓鐵道院に打電して機關車二千五百輛貨車四萬輛の急造を依賴せり

尙今後の必要に應じて材料、機械及び部分品の供給を行ふべし、而して必要なる場合は技術上の助力を致すべし。

終りに臨んで交通當局の熱心なる助力に對して滿腔の感謝を表す。露國鐵道の將來は交通當局に依つて保障せられたることを確信すると共に北米合衆國の技術上並に物質の補助に依つて我が聯合國たる露國が戰爭を繼續し得ることを期待するものなり。

露都千九百十七年七月四日　北米合衆國鐵道使節

遞信時言

矢野通信課長談

△郵便料値上問題

歐洲大戰後英佛伊に於ては主として財政上の理由に依り郵便電信等の料金率を高めて其增收を計りしが露、伊、墺等の諸國も亦同樣の理由にて郵便料金率を高めたることあるが何れも戰國の財政上止むを得ざりしものなるべし然るに近頃內地の諸新聞紙上にて我帝國にても亦信書葉書等の料金率を高むる議ある旨報道しあり其眞否及び必要の有無に關しては余輩關知の限りにあらざるも信書葉書及び葉書等の料金率は郵便法に規定しある所にして同料金の改正は卽ち郵便法の改正となるを以て當局者限りにては之れを改正し得ざるものにして議會の協贊を要するものなり若し萬一改正さるゝものとするも來年度の問題にして差し迫りてのことにあらざるべし

△內鮮連絡電信線

過般某紙上にて朝鮮內地間の電信回線は三線ありとの旨記載し又た某々紙には四線ある旨記述しありたるも朝鮮內地間には目下五線の直通線あり卽ち京城東京線京城大阪線京城下關線釜山下ノ關線及び松江線之れなり卽ち三線ありと云ひしは京城と內地間の回線數の誤りなるべく四線ありと云ひしは京城下の關線を脫したるものなるべし右の如く目下朝鮮內地間には直通線五回線あるに過ぎざるを以て將來朝鮮の產業發達と共に電信激增するに至れば回線數增加の必要あることは何人も認むる所にして東京大連線の竣成することゝあるも猶朝鮮內地間に多少の回線增加を必要とする時機は遠からざるべしと信ず

△度數制と朝鮮

電話度數制は田遞相の言明によるも遠からず內地の大都市に之れを實施するに決し目下切りに調査を進め準備中なるに似たり偖て朝鮮は如何と云ふに內地に於ては電話口數一萬以上を有する都市に施行すとの事に付此の標準を以て朝鮮を見れば京城の漸く三千一百口龍山の五百を加へて一區域とするも漸く三千六百口にして四千に及ばず尙ほ一萬口には遼遠なり從つて自餘の各地は問題とならず之等の關係より朝鮮には未だ度數制實施の計畫は何等立て居らざるも電話度數制は其の濫用を防ぎ通話數の整理をなす事に於て最も必要の制度なり又其の實施は世界の大勢に付京龍に於て今一千口も殖ゆる更に日本の電話度數制の實施標準が五千口に低下するに到らば或は其の施行を見るやも計り難し度數制の方法にも色々あり(一)各加入者の電話を自動電話の如きものとし使用する每に金錢を投入するもの(二)一日百回までは無料とし百回以上は一回幾干と云ふ計算にて料金を計算徵收するもの(三)電話局にて加入者の使用度數を一々記帳し行くもの等予の知れるものゝみにても外に一二あり遞信省が如何なる制度によらんとするかは明かならざるも吾が京龍間通話の如きは前述第三の方式による度數制と稱するを得べし

誰

布施生譯　(51)

此時室の模樣は變つて薔薇百合ライラック其外四季取々の百花咲亂れた庭園の景色となつた、見れば老人から遠くも離れず夏の氣分豊かな其棕櫚の葉蔭に保部夫人が腰懸けて、右手には八島賴太郎が差當り平家の公達とでも謂ひさうな服裝で同じやうに腰懸けてゐる、老人は熱々賴太郎の姿を眺めて「惡人には要らぬ容色だ、彼奴め萬更でもない貌をしてゐやあがる。」と呟いた。

保部夫人の左には栞燈が浮かぬ貌をして傍の椅子に控へてゐた、そして何の薔薇の枝から薔を一つ挽取つて何と云ふ事は無しにそれを摧々してゐる、それには構はず保部夫人と八島とは何の話か餘に身が入つてゐる樣子である、老人は棕櫚の葉蔭に忍寄つた、しかし惜しい事には老人がやつと其處へ著くと丁度舞踏のお對手から柔體にお迎ひのお使者が來た、八島はそれを機會に話を切上げて喫煙室に保部を尋ねて往つて仕舞つた。

程無く舞踏は中休になつた、客は大方喫煙室か食堂かに這入つた、保部夫人はそれでも葉蔭の席を離れなかつた、四邊が手薄になつたのを見濟まして、東西屋に化けた壽腦老人は例の無細工な繪札を擔いでつかつかと夫人の傍へ現はれた、そして其繪札を其處へ立懸け杖を取つて身構をしながら、ゑへんと先づ露拂ひの聲繕ひをして茲に愈々口上を初めやうとした

其邊に殘つてゐた客はばら〳〵と彼を取卷いた、東西屋は得意になつて先づ滑稽な身振に客を笑はせながら、持つてゐる杖で繪札を一つとんと叩いて『東西〳〵此度戎座にて御覽に供へまする人情劇『思はぬ罪』『思はぬ罪』之は元來支那の活劇物でござります、今春北京に於て板に相懸け、古今の大當を取りましたる無比の傑作、此度當座の大骨折によりまして御當地向に飜譯致し、木戸錢たつた六錢と云ふ年代記にありそうなるお値段にて御最負皆々樣の御覽に供へまする。』言終つて拍子木を叩く眞似をした、そして其可笑さに周圍の人を噴飯させた。

購買入札

大豆五百石、外二點
右購買ス詳細ハ大正六年八月廿八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

陣營具購買

詳細ハ八月二十七日二十八日二十九日ノ朝鮮官報ニアリ

朝鮮駐剳軍經理部

公債 株式 社債 勸業債券

現物賣買

京城吉野町一丁目九十五
古閑商店
電話三十番

生徒募集

各學年共缺員あり入學を許可す詳細は本校に付問合せられたし
京城 私立 **女子技藝學校**
(京城南大門側電話一七八九番)

最新刊

▲續 世の中　三宅雪嶺　二、〇〇
▲最近支那陶器全書(全四冊)　大西林五郎　三、五〇
▲最近支那政黨研究　北京通信社　六〇
▲百行書法詳解　細川　一、〇〇
▲定石新法　中川龜三郎 岩佐銈共著　定價一、〇〇
▲千字本義解　五〇
▲熱 罵 冷 評　高島米峰　一、〇〇
▲自由主義 教授革新　河野清丸　七〇
▲朝鮮語法及會話　府編　二三
▲最新文章辭典　大町桂月　七五

京城本町一丁目 **大阪屋號書店**

鑛山用八角鋼

久敷品切の處今回多數
入荷割安應需(保税品もあり)
諸機械鑛具材料直輸入製作販賣
販賣 京城南大門外電話一〇四番
工場 龍山兵營前電話二五六番
中根商會

朝鮮警察行政要義

鍾路警察署長 法學士 永野清著

斯界の雄として令名嘖々たる永野先生が豐富なる學識と明敏なる觀察とを以て精研考覈遂に本書を公にせらる秋山法學博士評して曰く學理と應用とを以て經緯と爲し簡明に其の理義を述べ能く朝鮮特殊の警察制度を論じて遺す所なし亦以て斯法研究の津梁と爲すに足るを江湖の士之を其座右に備へられよ

全一冊 定價[illegible]

賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 **京城日報社代理部**

廣告

謹啓、陳者今般都合に依り當所調査係を京城南山町二丁目三十一番地當所京城出張所內に移し來九月一日より執務爲致候に就ては今後鑛山の賣買及調査に關する件は同所に御照會被成下候樣致度右御披露旁如此御座候也　敬具

大正六年八月

鎭南浦久原製錬所

財團法人

電氣化學科特設(晝間)(夜間)

電機學校

豫科講義錄完成

生徒募集 校外生 講習生
豫科一期、二期、本科一期 豫科一期二期本科一期選科高等科
授業開始十月十一日
規則書は申込次第送附
東京市神田區錦町
電話本局七九八、五一、二〇
(特殊の通信教授)(普通の通信教授)隨時入學

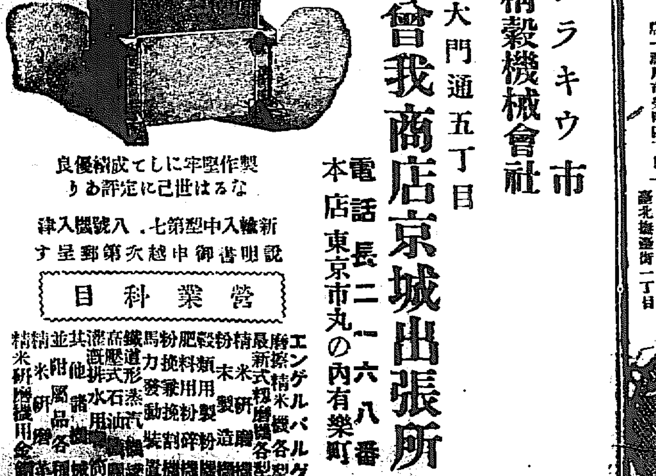
明治自動車タイヤー

明治ゴム製品販賣總代理店
東京市銀座二丁目
鐵材機械雜貨輸出入業
米井商店
支店 大阪市今橋四丁目 神戸市榮町四丁目
(出張所) 横濱市元濱町 横須賀市諏訪町 門司市西本町 吳市中通一丁目 新舞鶴町字濱 京城黃金町二丁目 臺北撫臺街一丁目

御合一對一本の御用にても御註文に應ずべく御使用の上は必ず首肯せらるゝ處あらん

エンゲルバルグ磨擦精米機

第一號型磨キ篩付



製作堅牢にして成績優良なるは世已に定評あり

新輸入中型第七、八號入機入津
說明書御申越次第郵呈す

營業科目

エンゲルバルグ各型 磨擦精米機各型 最新式籾磨機 精米機 粉末製造機 穀類粉碎機 肥料兼用割粉機 馬力發動機 鐵道形式 高壓汽罐 瀝青油用 共他水石諸機械 並附屬品各種 精米研磨用 精米研磨機用金網

米國紐育州シラキウ市
エングルバルグ精穀機械會社
東洋總代理店
京城南大門通五丁目
曾我商店京城出張所
電話長二一六八番
本店 東京市丸の內有樂町

露國內相附與權限

露國假政府にては內務大臣に對し左の權限を附與することに決せり(東京特電)

(一)革命に對する危險人物の退去に關する規則の制定(二)戰爭中許可なくして露都に入るを禁ずること(三)主務省と協議の上諸官廳をも移轉すること(四)前記の事項に關する諸規則は法令の公布を俟たずして實施し得ること等なり

伊軍敵逆襲擊退

伊太利軍はカルソ陣地に對する敵の逆襲を美事に擊退したり同戰鬪にて伊太利軍の獲たる捕虜は將校六百下士卒二萬に達したり(倫敦電報)

佛軍攻擊目標奪取

ミューズ右岸の佛軍はモルモン高地とボアルシャンスの中間にて强烈なる攻擊を行ひ全目標を奪取したり(倫敦電報)

南方作戰參謀處設置
第一軍より第三軍迄部署を定む

南方派は廣東に作戰參謀處を設け同時に部署を定めたり即ち第一軍は唐繼堯氏司令官として第一靖國軍と稱し雲南、貴州、四川を攻擊し第二軍は陸榮廷氏司令官として(此の間四字電文不明)靖國軍と稱し江西、湖北、湖南の攻擊に當り第三軍は程璧光氏司令官として陸海靖國軍と稱する由(東京特電)

解散民軍の不穩

許蘭洲氏は總督軍の排斥を企て形勢不穩なるより總督軍は急電を張奉天督軍に發し援助を求め來れり又山東濰縣の解散民軍陸續大連より奉天に來り其數二千餘名と註され各縣に於て事を擧げんとし一方遼西の匪賊猖獗を極め官軍敗北すとの報あり(奉天特電)

潜水艇建造決定

海軍省にては大正七年度に於て約三十隻の潜水艇を建造することに決し其の經費を同年度豫算に計上せり(東京特電)

運輸協議

二十九日安東縣に於て奉天釜山間における直通列車運轉及び滿鮮運輸統一に關し二十九日より安東縣に於て滿鮮鐵道當局會合し協議をなす筈なるが大連本社よりは西村營業課長、京城管理局よりは安藤佐藤兩氏列席すべく何れも二十八日安東縣に來る豫定なり(安東縣特電)

朝鮮併合記念

二十九日は朝鮮併合記念日に就き寺內首相は同日午後六時より當時の關係者を招き記念の意味にて內宴を張る由(東京特電)

辭令

二十八日左の通り辭令あり(東京特電)

朝鮮總督府道事務官 吉村剛
依願免本官

支部權限擴張

近日中に公布せらるべき地方裁判所支部權限擴張の候補地左の如し(東京特電)

(福岡)飯塚(千葉)八日市(水戸)土浦(宇都宮)栃木(前橋)高崎(長野)上田(新潟)新發田(神戶)姫路(名古屋)岡崎(富山)高岡(靜岡)濱松、松本(奈良)長岡(金澤)五條(廣島)尾の道(山口)岩國、下の關(岡山)津山(松山)宇和島(福岡)小倉、久留米、大分、中津、熊本、八代(仙臺)古川(山形)米澤、青森、弘前(札幌)小樽

露貨激落

二十八日哈爾賓發朝鮮銀行への入電によれば露貨激落して金百圓對三百一留てふ暴落の新記錄を現はせり原因不明なるも多分二十八日夕刊所報の如くヒンデンブルグ元帥の率ゆる獨軍が露軍を擊破し露都に殺到せんず勢ひを示し早くも臨時政府の莫斯科移轉說を唱へらるゝに至りし結果露國前途の悲觀が弱材料となりしものならん

東清鐵道値上

東清鐵道運賃値上狀況は既報の如くなるが割增賃金は左記の如くなりと

一、東清鐵道各驛間並に總ての直通聯絡に於ける旅客並に手荷物運賃率は五割增

二、各種速力の貨物(手荷物受領證に依りて取扱はる貨物をも含む)運賃率は左記の通りなり

一、東清鐵道各驛間に在りては十割增

二、東清南滿聯絡日滿聯絡に在りては十割增但し浦鹽經由輸出の大豆雜穀及び木材は除外す

三、浦鹽經由輸出向大豆其の他の雜穀に對する貨物運賃率は四割增

四、露支聯絡に於ける貨物運賃率は輸出入共に十割增

五、附帶料即ち手荷物並に各種速力の貨物の驛費積込荷卸積替等に對する手數料は烏蘇里鐵道並に歐露鐵道と同樣とす

六、運賃率の增加は本令發布と同時に施行す

觀瀾亭雜俎
蘇峰生

○世界大戰爭が、民主的風氣を、鼓吹し來りたるは、掩ふ可らざる事實也。されど此れと同時に少くとも英國に於ては、尊王的風氣を、宣揚し來りたる事實をも、識認せざる可らざる也。是れ一は大英帝國統一の必要上、帝冠を以て、其の契合の中心點となす、經世的打算の上より來りたるも、更らに他の有力なる理由として數ふ可きは、英王ジョージ五世の、身を以て國に殉せんとし給ふ行動に、是れ由る也。

○英王は談笑の際に、天下の大事を解決し、一顰一笑を以て、人心を籠絡するの術に於て、先帝エドワード七世に及ばざる可し。將た帝王の威嚴を以て、國民に臨むの點に於ては、其祖母ヴイクトリヤ女皇に及ばざる可し。されど眞正直に、國務に盡瘁するの一事に於ては、恐らくは英國歷代の帝王中、稀有なるのみならず、世界に於る模範的帝王と稱するも、溢美ならざる可し。されば此の民主的風氣流行の現時に於て、大英帝國內に、尊王心を宣揚し來る所以のものは是れ職として、英王聖德の反響と云ふも、過當にあらざる可し。

○過日首相ロイド、ジョージが、グラスゴー市に於て、演說中、若し我國に於て、最も精勵、勤苦の第一人を求めば、そは國王陛下其人なりと斷言するや、滿場起立して、國歌を合唱したり。如何に英王の獻身的行動が、國民の心を感激したるかは、之を以てもトするを得べし。

○斯る情態なれば、如何に民主的氣運は、英國を襲ふも、英國の王冠は盤石よりも、堅固なる可し。而して是れ一に、英王の君德に賴る也。

終末の土地調査

臨時土地調査局の總年度たる大正七年の豫算概算は既に總督府に進達濟なり居れるが同局事業は高等土地調査委員會の事務を除く外明年度を以て全く終了する事とて其の計上經費も多からず新要求額二十二萬七千圓にして之れに大正六年度の繰越し約百二十餘萬圓を加へ實際は百五十萬圓內外となるべし而して各課最後迄多忙なるは事務に於て總務課外業に於て整理課なりと

鮮銀券膨脹
證券準備發行餘力縮む

八月十九日より二十五日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は漸次膨脹して四千四百十五萬一千五百二十三圓にして內保證準備發行平均高は二千九百二十六萬一千二百二十九圓を示し證券準備發行餘力は七十餘萬圓を剩すに過ぎざるに至れり

鮮銀青島支店
未だ設置命令なし

朝鮮銀行にて對支發展の爲め青島上海の兩地に支店を設くるの計畫ある事は夙に同行重役の談により之を報せしが最近青島支店新設の認可當局より鮮銀に下りたるやう報するものありされど確聞する所によれば該支店開設に就て下さるべき總督府の命令は未だ發せられ居らず從つて其の設置期の如き全く不明なり

鮮人勞働者移入手續に就て(二)
朝鮮總督府囑託 脇野義雄氏談

傷痍疾病の場合に於ける醫療及び其費用負擔の方法並に此場合に於ける給金額不具若くは死亡の場合に於ける扶助料弔慰金其他慰藉金額及び其支給の

▲其他の條件 としては(四)十四歲以上の者なる事二十歲未滿の者にありては父母又は戶主等の有夫の婦に在りては夫の承諾書ある者なる事他に雇傭中の者を募集又は勸誘せざる事其他認可條件に違ひ或は公安風俗等を害すと認たる場合は認可を取消す事ある可し此場合朝鮮に歸鄕せしむべき勞働者の旅費は雇傭主に於て負擔すべき事等なり但し玆に工場法に於て年齡の制限は十二歲なるにも拘らず朝鮮人を十四歲迄となしたるに就ては紡績工女其の他熟練を要する工藝に從事せしむる場合又方の不便なるべきは顧慮せざるにあらず又發育程度に於ても母國人と大差なきも要するに父兄の下を離れ稍生活狀態を異にせるを以て倘當分の困難の事情外在するものありと認るに依れり(五)募集許可後の心得として募集者が勞働者を使用地に向け朝鮮を出發せんとする時は豫め應募者名簿に許可證寫を添へ其港灣を管轄する警務官憲に屆出づる必要あり、尙募集出願者にして朝鮮外に在る時は朝鮮在住者に其代理を爲さしむる方便宜なり

▲官廳との連絡 言ふ迄もなく朝鮮統治の根本政策とする所謂鮮人同化の必要上鮮人勞働團體を內地に移送するに就き警察本然の事務に關してのみならず積極行政殊に衞生上に及ぼす影響に直接個人の保護上貯蓄獎勵勞働能率昂進其の他精神上善良の影響を與ふる施設を試みざるべからざる等內地に於ける地方廳に對して殆んど父兄に代るべき保護を依賴するにあらずんば單に經濟上の目的以外に關しては到底達成し難し故に認可に際しては其都度勞働地の狀況等を詳悉し且つ其の意見を求めつゝある次第なり尤も朝鮮人と雖も內地に到著せし以上は工場法其他の內地法系の許に內地官憲の直接取締に屬し敢て朝鮮官憲の干涉を要せざるも前述の如き個人保護其他積極的方面の目的を達せんとするには特に密接なる連絡の理に機宜の方法を採るの必要あり這回警務總長が特に主務課長たる中野警務官を東京大阪地方へ差遣せしは以上の狀況に關しても親しく其の實況を視察し亦何等かの連絡あるべきは或は其の目的の一ならずやと想察せらるゝものあり

▲取締の要點 以上の如く朝鮮人勞働者を內地に移送するは單に經濟上のみの目的に非るを以て兩者に對しては比較的嚴密なる取締を以て共に永遠に善良なる關係を持續せしめんとするの方針なるべしと思惟せらる而して應募者を保護する爲には雇傭契約の多くが比較的被傭者側に有利なるに拘らず單に內地觀光の旅費を詐取する結果に止まり或は就業地に到著するや直ちに目的を翻へして逃走し或は逃走せざるも不當の口實を設けて雇傭主の支配下を脫せむとし或は常習博徒は盜癖を有し或は同盟罷業を煽動し又或は惡漢不良の徒と化し其の他公安風俗を害するの虞れありとするものは可成之れが募集を避けしむるに力むると同時に一方應募者卽ち勞働者側を保護する爲には多く無教育者又は其程度低くして社會の事情に通せざるを奇貨とし直接募集に從事する者往々にして一攫千金を夢むるが如き甘言を弄し或は勞働の種類、時間、賃金旅費其他の給與又は恩給方法等を詐言に誇大に吹聽する等に由て應募し就業の結果は忽ち彼等の豫想に反し尤も親むべき墳墓の地を遙にして失望の餘り遂に路頭に迷ふの窮地に陷るの止むなきに至らしむるが如きは絕對に豫防の必要より認むるを以て苟くも斯る不穩不當の行爲あるに於ては其許可を取消し又は刑罰法規上根據を有する限り斷乎たる處置に出づるの方針に基き取締を進めつゝあり(未完)

慶北稻作順調

九月上旬は稻穗盛り[illegible]に稻の發育極めて良好なりしと雖も何ほ稻の全成育期を通じて水量を要すること多く[illegible]を訴ふるが如き虞れなかるべく既に早稻の內日の出の如きは出穗揃ひを[illegible]

馬山地方作況

今年は春以來旱天甚だしく打ち續き農作物に及ぼせる影響亦甚大なるものありしも七月以降屢々降雨を見氣候順潮なりし爲作況悉く持直ほしたるが如きも本月中旬以降より俄かに氣溫低下し秋冷を著しく感ずるに至りたるが右に關し馬山地方一帶の農作況を當局及び水野村井農場長に就て聞くに目下の冷氣は差程稻作には影響なく陸稻並び日の出類は出穗の盛りを經過して稍垂れ初めの作況にあり而して一般の晚稻は最も大切なる出穗期及び結實期は九月中旬より同月一杯なれば來月に入りて氣溫及び晴雨の順調を得れば確に近年稀なる農作をも收むるに至るべく又畑作は大豆其他一般に目下の處平年作以上と見て先づ支障なかるべしと

鮮銀株主現在

朝鮮銀行株主の員數は今春の新株募集により約千名を增加し目下四千五百四十人の多數に上り居れるが內五十株以上の株主は五百六十三名にて五百株以上は三十七名なりと

關釜貨物專用船

朝鮮の出穀季節に向ひたると各向貨物の輸入時季に迫りたるを以て鐵道院に於ては來る九月一日より御嶽丸を備船して關釜間貨物輸送專用船として就航せしむることに決定せり(釜山)

橋口少將歸省

目下浦尾旅館滯在中の元鐵道監理部第十三旅團長橋口少將は豫ての宿痾快方に至らざる爲め這回歸國の途中滿洲五龍背溫泉に靜養の筈なりしも日程を變更の上廿六日入京佐藤博士の診斷を受けたるに歸國靜養の旅行には差支なきを以て愈よ廿九日午後七時五十分南大門發の列車にて南下歸國すべしと

石塚總裁動靜

湖南地方巡視中の石塚東拓總裁關屋土木課長小池參事の一行は二十八日宮三面滿頃王事竣成式に臨席し二十九日江景出張所管內羅岩里開墾工事竣成式に臨み三十日論山扶餘等の視察を遂げ三十一日夜歸京すべし

國澤理事長 來期

株主總會出席の爲め目下東上中の國澤東拓理事長は二十五日總會終了したるを以て要務を辨じたる上九月三四日頃東京出發歸任の途次[illegible]中止の姿になり居れる[illegible]視察の旁ら各所に於て官民有力者を招待し[illegible]筈なり

府尹郡守等懇親會

會同の爲め目下入京中なる京畿道管內府尹郡守及び各府郡庶務係主任は二十九日午後六時より花月に於て懇親會を開く由

人事消息

▲中谷孫七氏(大阪鑛山業) 二十八日來入京 貞後へ

▲福井武次郎氏(新安州農業家) 二十八日入京 山本旅館へ

百聞百種

煙草通の臼井哲夫君は孜々と葉卷の蒐集に努めて居る▲畏れ多くも陛下の御常用は各國の銘葉を選り拔いて專賣局で謹製したものださうで▲銀箔で堅く包裝し其レッテルには「Imperial」と記入してある▲次は墺地利先帝フランツヨセフ陛下の常用で大さは藥指大でハバナ製の如く▲縱に麥稈を通して煙を導くやうにして有る▲今我國にある最高の葉卷はハバナ製のガス社製のビスマルクで百本二百二圓▲次はロバンチ社製のインペシブルスで百五十圓▲ハータガス社製のヘリオトロープ百卅圓▲四番目バンチ社製のヘルプエクトス百七圓が上等の部だ▲桂公遺愛の煙草は一本見本として仕舞つて有るがこれは少くとも一本三圓乃至四圓の品で▲矢張ハバナ出來で見事なものだが後がないので喫む譯に行かぬ▲寺內首相の常用も矢張ハバナ製で一本四十八錢其名はドックキーグと云ふ▲今自分の處にあるのは此のビスマルクから一本十一錢の獨逸のマーキアトレルまで四十五種▲其の外にレッテルの剝れた產地不明の葉卷が數種ある▲自分の手元に在るのは英、墺、獨、和、白、マニラ、スマタラ、支那等の產で佛國と露國とが未だ揃つて居らぬ▲紙卷も數種あるが今少し整理しないと數が多いので一寸困る▲自分の仕事は我國に煙草が輸入されてから後の分布地圖の記入で▲慶長十一年に薩摩の揖宿長崎櫻馬場に播種され▲其後薩摩侯から近衞公に種子を獻上して京都花山等に播付けてからの分布徑路に就て研究中に有る▲斯うして來ては專門家も裸足だ

道詭願房喜徐內兄初園呂先生荷亭來訪談次述懷 琅田 緖重聽

東西儒佛試恭看濟世忘身學最難 宿志未成年已晚鏡中一笑鬢絲殘

訪琅田爵閣留題 荷亭 呂圭亭

涉野穿山卅里程炎蒸自散短筇輕 履迸石間杼杼處欣似金剛頂上行

金剛頂上昔同游君輒呵僧我勸休 始覺訶僧因佛願苦心須向此詩求

荅琅田 初園 徐相勛

訪君夙駕款禪扉一路清幽署氣微 眞諦識來聰未足却忘林外已斜暉

忘身濟世儒知難儒佛東西平等觀 我已頹唐猶萬念君猶彊積舊心肝

持斯東錄ハ官帳南鮮巡察の途上より古郡局長に示されたる一律を昨紙にて紹介せしが右は長官に於て未定稿のものであつたのを誤りて掲載したるものであつたと局長より訂正が來た恐縮の至り

雅、頌、寄、來、情、意、濃。欽君綽々當街衝非才、元、不、均、輪、器。再德何堪追放驄。長短驛亭馳快馬。白紅燈火照潛龍。一笑儂狂拱新官足。詩酒合宵衛賦。示。

誘拐して賣却

慶南咸安郡[illegible]渡して身柄を連れ出し平北道雲山郡[illegible]

●鬱陵島致院[illegible]

商業登記

日本ウール工業株式會社支店(變更)

一、朝鮮ニ於ケル代表者仁位信親ハ大正六年六月拾八日死亡シ左ノ者同日朝鮮ニ於ケル代表者ニ就任ス

始興郡北面堂山里百番地 和田欣次

一、取締役鈴木宗兵衞ハ[illegible]

南品川宿三ツ木鈴ケ崎七百九拾貳番

一、[illegible]

右 大正六年八月拾七日登記

京城地方法院永登浦出張所

地方金融組合設立登記

一、名稱 市邊里地方金融組合

二、主タル事務所 黃海道金川郡西泉面市邊里百五拾九番地

三、目的 組合員ノ金融ヲ緩和シ其ノ經濟ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス左ノ業務ヲ營ム

一、組合員ニ農事上必要ナル資金ヲ貸付スルコト

二、組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト

三、組合員ノ爲ニ種子、苗、肥料、農具其ノ他農業上必要ナル材料ヲ購買スルコト

四、組合員ノ生產物ヲ販賣スルコト

五、組合員ノ生產物ヲ倉庫ニ保管シ又ハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト

六、[illegible]

七、出資總口數 九拾六口

出資總額 九拾六圓

出資拂込ノ方法 第一回拂込ハ出資壹口ニ付金壹圓ヲ拂込ムモノトス

理事ノ住所氏名 黃海道金川郡西泉面市邊里百五拾八番地 片桐啓治

右 大正六年八月貳拾壹日登記

海州地方法院金川出張所

專賣特許出願中
光澤壁塗料
右塗料を以て朝鮮銀行內部塗替致候御序での節御一覽を乞ふ 龍山漢江通十三番地(小學校前)
製造發賣 京城旭町二丁目五十一番地 浦田商會 電話四四六番
京城旭町二丁目 佐藤熊太郎 電話四七九番
取次所 京城長谷川町八十四番地 鮮滿工業社代理部 電話二四六七番
取次所 京城本町三丁目卅八番地 黑宮精逸 電話三三一二番

快乾 牛乳 石鹼 洗粉 ニッソ
肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

洋服 秋冬服割引特約 染替洗濯 附屬品賣買代辨
京城黃金町一丁目 日新商行

醇良清酒

釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎
京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎(電話長二九番)

京日案內
普通 壹回前金五十錢 番外 壹回前金(匿名一圓增し)
▲申込後中止の節は前金返戾せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信用郵券御封入を ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を

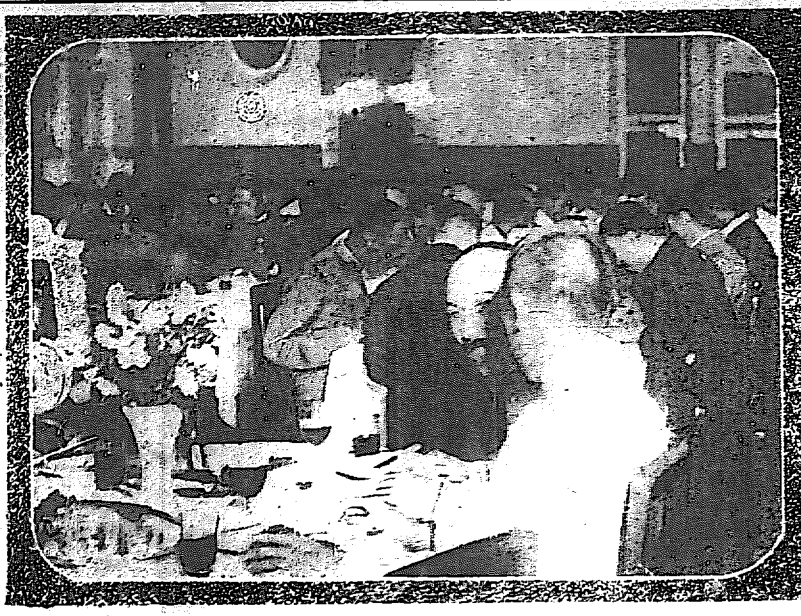
普通
牛乳配達夫入用 年齡二十歲以上三十歲以下自轉車に乘務の經驗ある者 京城西大門外冷洞 東洋牧場 489
看護婦及見習看護婦至急入用 姓名在社 486
店員入用 但し年齡十五六歲以上 京城永樂町 商品陳列館賣店 中谷 490

番外
中古ピアノ出物あり 貸オルガンも有ります 京城本町 ウッボヤ樂器店 電二五七 435
金銀銅亞鉛鉛 鑛石買入 停車場渡にて即時評價買入に應ず見本御送り乞ふ(電一三二七) 京城旭町一ノ一〇六 內藤秀一郎 488
看護婦採用 履歷書携帶本人來院の事 京城旭町 內科小兒科 小林醫院 480
恩給年金 五年分迄 四年分迄無保險 年利一割 即時 現金立替 利子後引 京城南大門外御成町 山口屋 電話二六八番 367
公債株式現物賣買 東京合資會社扁島商會特約店 京城貫鐵洞一五三 電話二三八一番 加藤商店 330
開自働車 京城春川間 賃金片道四圓 京城水標橋通り 電話二一三八番 京城發午前八時 春川發午前八時 春川自働車商會 松田壽男 360
恩給年金立替 短期無保險 京城若草町二〇(金光教裏手) 電話二三九一番 國江商會 利子低安 即時取引 403
鑛物各種分析 遠藤醬油店向側入る 太平町二丁目二六(電話二八三) 松永分析所 418

…附け出…二十九日…陸道通過…の豫定なりと。因に同團は二十六日午前八時公州より高敞守鶴崎道地以て許可されたる朝鮮輕鐵會社出願に係る忠清南北兩道の輕鐵に對し…添附し工事施行準備に關し諸種の便宜を與へられたき旨夫々通牒する所ありたり

…稻作は播種と移植當時より八月上旬に至る間は天候氣温共に概して順調に經過し蟲害亦著しからず爲め…れつゝありき然るに八月中旬に於て十九粍四同下旬に於て四十八粍入の降雨ありたる爲め一般に水量の不足…ば本年の稻作は豫想の如く近年になき增收を示すならんと農民の喜び一方ならざるものあり（大邱）

…男來り…に向ひ良班に一二箇月も酌…せしむることを承認せば七十圓を提供すべしと勸め直ちに十圓餘を與に…れ當時元山春日町增田銀藏所有船第二金建丸乘組水夫俗稱鈴木米太郎…



◇松川軍司令官の招待宴（廿八日夜朝鮮ホテルに於て）

◉好將軍を迎へて

◇◇新任松川軍司令官の招待宴◇◇
◇◇二百の來賓將軍の健康を祈りつ◇◇

新任朝鮮駐剳軍司令官松川敏胤將軍の一般的な披露宴は二十八日の午後七時より朝鮮ホテルに開かれた、六時を過ぎると

◆來賓は續々こ 俥や馬車や徒歩でホテルに吸込まれるやうに集まる、七時頃から烈しい雨が降つて來た、其の雨中を衝いてやつて來る人もある、七時半二百近い來賓が休憩室に充滿する、七時半ドラを合圖に食堂が開かれた、十四人宛席に著いた卓が十數箇所に並べられて卓上には草花や雪洞が飾つてある、宴漸く酣なるや

◆松川司令官は 起つて鄭重にして簡單な挨拶をなし、來賓のために盃を擧げたると來賓を代表して立花第十九師團長は謝辭を述べ松川將軍が日露の役に作戰部長として偉功あり殊に　聖上陛下の戰略上に關する御指導を述べ斯る將軍を軍司令官に迎へた事は朝鮮の幸ひで吾々は公私共に今後御指導を仰ぎたいと云ふ意味の旨を述べ、一同とともに杯を擧げて松川將軍の

◆健康を祝した 其後置酒歡語の裡に時を移し、午後八時半に至るや、園丘壇の前に設ける豫定であつた模擬店を雨のために大休憩室に開きサンドウイツチ、摘み肴、珈琲、握り飯等の店を設けて、そこで亦人々は又一切り歡談し九時近くからそれ〴〵歸途に就いた當日

◆來賓の主な人 々は立花中將、森安博士、岡本中村兩技師、市川少將、其營務官、田中經理部長、大田鮮銀理事、高野三井店長其他各官廳の高等官陸軍將校民間有力者新聞通信社長軍司令部出入記者等約二百名であつた

◉朝鮮僧侶團の內地佛教見學
卅一日京城出發

朝鮮三十本山委員長通度寺住持金九河、永原龍珠寺住持姜大蓮、陝川海印寺住持李晦光、慶州奉恩寺住持羅晴湖、全州威鳳寺住持郭法鏡、江華傳燈寺監務李智永諸師は金淑雅、權相老の

◆兩僧を 隨員とし加藤總督府囑託の案內にて來る三十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて內地佛教見學の途に上る筈なるが一行の行程は未定なるも明治天皇の桃山御陵に參拜し寺內首相を訪問して總督在任當時朝鮮佛教の振興に努力せるを謝し傍

◆臨濟宗 大本山花園妙心寺、眞宗東西兩本願寺、淨土宗本山智恩院並に臨濟宗の修禪道場、鎌倉圓覺寺其他を參觀する筈にて日程の都合に依りては日光、高野山等をも參觀する豫定なりと

◉自動車乞食老婆を轢く

二十七日午前九時二十分忠州行き定期運轉の自動車が乘客數名を乘せ本町四丁目の停留所を發し約一丁を進みたる同町憲兵分隊側街路上にて乞食體の鮮人老婆が不注意のため車輪に觸れて刎ね飛ばされ右脚を後輪にて轢きたるより運轉手は直ちに被害者の手當をなすと共に旨を忠北自動車部及び清州署に急報し被害者は卽刻清州慈惠醫院に擔ぎ込みたるが一方急報に接し清州警察署員は法院支廳清水檢事と共に現場に出張し實地檢證を行ひ運轉手福田の訊問を開始したるが被害者は清州郡四州面校西里居住の金召史（六九）と云ひ同日娘と共に清州に來り乞食に廻り居たる者にて負傷の經過良好なれば約二週間にて全癒すべしと（清州）

◉鮮人筏夫に危害を加へた木把
十一名捕はる

二十四日鴨綠江上流老灘庄に於て鮮人筏夫に危害を加へたる三十餘名の木把の內十一名は二十七日外務省警察にて支那官憲の爲め逮捕せられたりとの電報ありたり（安東特電）

◉死屍を發き
―肉を喰らはんとす―
―例の鮮人の迷信―

平安北道龜城郡方峴面下丹洞居住張碩角（ヨ）といふ男マラリヤに罹りて苦み居りしが朝鮮の古俗にマラリヤは人肉を食すれば立どころに平癒すると云ふ迷信ある事を思ひ出しどうかして然るべき人肉を求め出して食せんと考へ居る內隣家の張碩宗の子供當年二歲になるが七月二十七日急性腸カタルにて死亡埋葬したるを其夜墓を發掘し死屍の肉を切取り喰はんとしたるも臭氣甚だしく流石野獸の如き男も喰ふ事を得ず其の儘自宅の裏手に捨てたる事露見し南市憲兵派出所の手に逮捕せられたり

■內地觀光の朝鮮僧侶（右より）李晦光、金九河、姜大蓮

◉酒一本の密賣から
二ケ月餘の拘禁

露國官憲に取押へられた鮮人

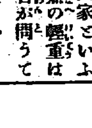
咸鏡北道生れの鮮人朴可恩（二）は此程滿洲里驛で酒精密賣をして居た事を露國官憲に取押へられて、永らく拘禁の結果吾が官憲に引渡されたが同人は約六年前に知多附近の鑛山に働いて居た揚句に今度拘引されるで僅か二十日ばかり前に滿洲里に出で旅客の荷物を停車場に運ぶなどの事で多少の報酬を貰つてそれで生活をして居る、中酒精の密賣を思ひ立ち或る日一本一留四十哥のウオツカ二本を買入れてそれを停車場に持ち行き二名の露兵に其中の一本を二留に賣り渡した所が其露兵等は代金を呉れないで列車に乘り込んで仕舞つたそこで同人は直に後追かけて列車內に行き外にも澤山な露兵が居るのにも恐れず散々其無情を責め立てゝ居た中、隊長と見ゆる一人の士官が來て何故かと理由を兵士等に聞き訊した所が露兵達は異口同音に一齊となつて實は只今隣室にあつた酒一本を此鮮人が盜み取つたので取り上げて居る所だと申立てたので同時に鮮人は列車から引下されて露國官憲に引渡され其間拘禁されるやら何かで散々な目に遇つて今日迄に二箇月にも及んだそうだ（滿天）

◉パゴダ音樂會

來る三十日（木曜日）午後八時より鍾路パゴダ公園に於いて李王職音樂隊の奏樂あるべくその曲目は左の如し

▲行進曲カル王▲長唄梅にも春▲圓舞曲チロレフ夫人及チロラ踊▲序曲野獸狩り▲劇曲ホサスト▲カテリン曲インデゴ海賊▲トレカドル及カンダロース夫婦の服装舞曲▲序曲オルレカンス少女▲ガロプ曲三鞭酒の興

●旭石水講談好評 講談師旭石水は其の後京城劇場を打揚げ本町署兵營銀行等にて好評を博し居りしが廿八日は本町署にて廿九日は松永道長官も合にて得意の長講舌を振ふ由



▲警務總監部の前田大佐はお職掌にも似ず劇評の大家といふ評判だが畢の輕重は兎も角小原長官が問うてこれも劇評の大家小原長官が問うて見たとのことゆへ嘘言ではなかろう▲尤も小原長官のは他人の認めると否とは問はず自分獨りの御免許ださうだが兎に角大佐は僕より一日の長だもの」と敬服して居る相な▲大佐と云ば大佐の令兄は山岡鐵舟先生門下の高弟で劍道の奧傳をうけた程の人ださうな▲ある時は雨もとらず一夜に二百何十人を薙ぎ倒していよ〳〵奧傳を授かる時は鐵舟先生と共に素面素小手で木劍で立會ひながら人ばらひして奧傳の氣合を授かつたさうな▲その上令兄は書體まで山岡先生を學むだもので曾ては四谷の納豆屋の主人の變り者を愛して店の看板をかいてやつたものださうな▲ところが或日本人の鐵舟先生から見つけられて平あやまりに頭をかいたが「お前は俺よりうまい」と抑つてほめられたさうな

◆新羅の舊都に遊ぶ（六）

始祖王朴赫居世の陵に詣づ……五陵の傳說……鮑石亭

五道踏破旅行記者 李光洙

◇五陵の入口にて一老人に逢ふ。風采落したるも容貌非凡なり。古川氏の紹介によれば此こそ慶州名物の奧田奇人。曾つては國會議員の公認候補ともなり歐米漫遊さへなしたることある名士なりしも如何なる機にや轗軻落魄の身となりて雛な慶州に入り一時陵部守護となりしも其さへ罷官となりて今は古器物を蒐め遊覽者の案內等して淋しき月日を送らるゝ由にて候。一見奇骨ある好漢にして而も温和なる言動は相手をして懷かしき感じを抱かしむ。署長の談によれば平常は至つて温和なるも邪曲を見るか氣に喰はぬ人を見たが最後遠慮も會釋もなく罵倒する奇癖を有する由にて是恐らくは彼が不幸を醸したる美點なるべしと存候。世の中は正直のみにては通らず實に世通自在を要する如く相見え候。けにも嘆かはしきことかな。

◇奧田老人と再會を約して欝蒼たる松林中に蟋蟀の聲を踏みつゝ石垣環らせる五陵の正門に入る。物識顔の朴淥奉君先導恭しく陵前に拜して首を擧ぐれば夕陽は老松の梢に燃えて蹁躚の鳴聲喧しき中に雄大なる新羅の始祖朴赫居世の陵は柔かき青草に包まれて靜かに眠る。未だ政治も文物もなき六村の原始的人民を合せて始めて組織ある國家を形造り燦爛たる新羅千年の文化と富强との礎石を据う。其の德、其の功や神なしきかな、偉大なるかな。再び跪きて其の靈前に拜せざるを得ず候。瞑目して二千年前の有樣を思浮ぶれば王陵眞二に割れて眼光炬の如く肉筋逞ましき一巨人長劍を振翳してぬつと見はれ出で今にも駟馬に鞭を當てゝ驅け出でんする其の刹那ふと眼を開くれば其は一塲の幻像にて候ひき。然り二千年の古塚の割れん筈もなければ土に化したる赫居世王の躍り出でん筈もなかるべく候。

●五陵（朴氏始祖の陵）

◇始祖王陵の後方に閼英井なる井戸端にて拾ひきと云へる閼英王后、第二世南解王、第三世儒理王、第四世にして月城を築きたる婆娑王の陵あり。故に之を五陵と申すものにて候

◇赫居世は蘿井の畔の大なる卵より生れて突山高墟村の首長蘇伐公に育てられたりと傳說は語り候。金、李、崔、孫、鄭、裵、薛諸氏の祖先たる六村の祖先は何れも天より降れるが如しと三國遺事は敍ふ。或は天より降り或は井戸より湧き或は卵より孵る。草木が物云ふ昔の事なればさもありなんと點頭かれ候。荒誕と云へば云へ無稽とも云へば云へ傳說其の儘に受取るが最も面白きことゝ存候。

◇左方蘿井の森をちらつと一瞥して南すること半里本道より東に折れて數十歩を行けば石にて鮑形の溝を造りたるあり。是れ新羅の最後の幕の第一塲を演ぜし鮑石亭の流觴曲水にて候。五十五代の景哀王王祖の偉業を己が身に承けたるも忘れ夜以つて日に繼いで酒色宴樂に耽る。酣興正に酣なる時甄萱によりて眼のあたり王后を姦せられ次いで彼の毒刃一閃哀れ王が命は果敢なき露の露と消ね去る。遊子よ試に青草を分けて土の匂を嗅ぎ見よ。今尙腥き鮮血の匂は致すならん。

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
和洋金物一式
京城本町三丁目 佐藤半次郎商店
電話二四三番 振替京城一二二〇番

明治大學學生募集
◎法科、商科、政治經濟科各專門部
◎大學豫科
●法科●商科●政治經濟科第二學期入學は九月十日 十月に涉り三十日間とする各專門部特科及大學科は臨時入學を許すことあるべし但商科に特科なし●九月八日入學及編入試驗擧行●中學及同程度の學校卒業者は專門部に無試驗入學●授業開始九月十一日●學則は郵券貳錢添付申込次第送付す
東京駿河臺 明治大學

京城高等普通學校敎諭坂上網吉先生著
朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義
定價八十錢 特價七十五錢 郵稅六錢
本書が各種官廳の採用試驗に應せんとする人の爲に各法律を旣出の試驗問題を緯とし敎授の實際を經として簡明に敘述し直に探つて以て答案をなし得べきやう講義したる好著なることは本書發刊以後における法律の筆記試驗問題が皆本書中に擧げられ居るにても知らるべしこれ本書が姉妹篇法律問答の口述試驗好準備書たると相俟つて受驗者に必要缺くべからざる所以なり敢て月桂冠を得んとする人の座右に一本を薦む
賣捌所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城日報社主催觀月會に
サッポロビール販賣店
四百名團體加入
九月一日京城日報主催の觀月會にサッポロビール販賣店四百名團體加入致す事と相成既に其れ〳〵御案內狀差し出し置候へ共尙爲念御注意事項左に申上候
一、九月一日午後正八時南大門驛發
一、萬一遲參の方は電車に御搭乘淸涼里にて御待受け相成度候
一、會場淸涼里にはサッポロビヤホール其他賣店の設けあり
一、時節柄御食物は各自御調理御携帶相成度候
サッポロビール釀造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所

サッポロビール
特約大販賣店（イロハ順）
大塚支店
龜屋商店
仁川 河野本店
前田酒店
牧野商店
藤田商店
藤木商店
佐藤牧商店
仁川 宮田商店

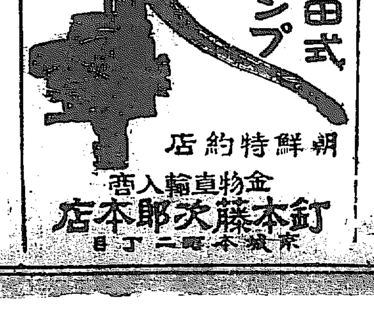
仁川 白神洋行 京城
ペイント、油類一切
コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シヤブル
帶革、ロープ
機械、工具
附屬品
其他
鐵材
鋼
浪板、平板
針金、洋釘
新田帶革總代理店
【御用命次第一報次第無代送呈】

天下一品

增本酒店
電話一〇九番 仁川本町三丁目

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四〇番
內科 小兒科 入院隨意
無料施療す 每日五名を限り
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏

松田式ポンプ



朝鮮特約店
金物直輸入商
釘本藤次郎本店
京城本町二丁目

原式昇降機付精米機
精米界のレコードを破る天下一品

◎本機械の特長
在來の精米磨擦機はローラー及シヤフトを共に一個の合製にて取替誠に不經濟なりしに反し他式にも自由に使用し得る原氏の發明に係る本機はローラー取替へ實に輕便にしてローラーのみを取替へ機械の消滅半額を以つてなすを得本機四五台を使用せば一ケ年の人夫費及ローラーの經費二千圓以上の節約を得本機希望特約希望の御方は御一報次第說明書カタログ無代送呈す
朝鮮一手販賣元
釜山本町一丁目
中島機械商會
電話特長九九〇番

發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
京城太平町通一丁目
發行所 合資會社京城日報社

浪華の噂

支局記者

◇大阪築港埋立地の起業近來益々盛んになり賃貸料の騰貴は借用出願者で勝手に釣り上げたお蔭で市は多くの利得する事になつたが貸下地の割當には大分頭を悩ましてゐるとの事だ、今に築港附近は鐵工所と造船所で詰まつて了ふだらう

◇郊外電車の昇收は素晴しい勢で南海の三割二分阪神の二割五分京阪の一割五分箕面大軌の三割五分と云ふ近來にない好況を示してゐる、箕面や緑越や増配やと重役や株主は何れも勝手の可い理屈をつけて内々北叟笑みをしてゐるが餘り調子に乘ると後で詭計を作らねばならぬ

◇大阪實業界の耆宿土居翁は重病と聞くと最う後任運動に色氣を見せる人が出來る、何と云氣の早い世の中だらう、大電社長は阪野氏京阪社長は太田氏商業會議所會頭は今西氏と次官が大臣となるやうに後から押上たら譯はないのだが拗そうばかりも行ねと見ねて未だ牛乳の三合お粥の二杯も喰ふてゐる人を稍へ入れての思案をするから恐ろしい

◇古川男が大鍋に二萬圓で家を買つて遣つたと云ふ事である、男にしては乞食坊主に遣る瑞した錢ほどだが、貰ふて有難がつてゐる大鍋は程にもない氣骶のない男だと云ふ者がある。

◇阪神間の國道は自動車が二臺行違ふたら動きが取れぬくらい狹少で久しい間問題であつたが愈々内務省の補助を得て大阪府と兵庫縣で擴張の計畫を立てた三年乃至五年の繼續事業とし目下三間の道路を一躍十六間乃至二十間にする其經費豫算總額約三百萬圓と聞ゆ天下一の鐵道寄附金の大阪と神戸を繋ぐ道路としてはそれ位のものが出來てよかろう。

◇府立職工學校長尾崎某辭表を提出し未だ辭令の下らぬうちに早くも大阪窯業會社に入りて就任の挨拶をなし目下問題となつてゐる。懲戒免官になつては恩給が取れぬからそつと辭表を提出して置て早くも俸給の高い營利會社へ入つて働いてゐるなどは悪辣極まる不徳義漢だ、學校は少からぬ迷惑教育界には怪しうした人物がウヨウヨして餌を乞ふ鯉鮒のやうに口をあけて待つてゐるのだから情けない。

◇若き建築家松田學士の死は疑問だ物價騰貴で請負材料の損失からだと云ふそれも疑問だ、失戀說得それも疑問だ、脳の悪いのも當にならぬ、迷惑なのは工事監督を託した増田氏で、未だ棟上げしたばかりの別荘を血に染められて了つた、大阪公會堂設計懸賞募集の當選者がこの疑問の死の人で、公會堂寄附の岩本氏があの死だ、死も公會堂何だか馬鹿に御幣が擔ぎたくなるなど北濱あたりでは噂してゐる。

◇大阪で僅か二百臺に足らぬ自動車が事故を頻發させて専門の係官を忙殺せしめる、原因は成金輩が藝妓などを乘せて無暗に走らせ低級な運轉手が御祝儀の光りに眩惑して邪魔なものは轢いて通ると云つた風の態度を執からだとは困つたものである

◇浮市お里が名高い大和高市郡壺坂なでは綠季の世お里の貞節を表彰するため傳說吊魂碑を建設する事になつた、先代豐澤團平の妻千賀子の作である浄瑠璃の『壺坂』の靈驗の方が觀音様よりあらたかである

◇浄瑠璃と云へば呂昇の養女昇六改め呂之助のを聞て見れ師匠だりおヰサンたる呂昇の體面で二代目たるべく車輪に語つてゐるが、今一息先途の光明が認められぬ、呂昇が躍起となるだけそれだけ痛ないやうな努力の痕が見ゑて興味索然、二代目は何處も甚六が多い。

◇新世界大正藝妓の新開業は全然許可されぬので段々減じて行き料理屋は次第に客足が減り大恐慌とは風說の上から說ばしい事である。(二十六日)

◆ア、ラ不思議 龍の昇天!!

龍登の腰橋湖

本月廿二日の午後全北益山郡では一天俄かに搔き曇つてパラパラ雨が降り出した、何が偕て雨と來ては地震、雷鳴、火事、親爺以上に怖い鮮人のとて野良稼ぎの李氏金氏、素破と許り作業を止めて一目散に家路をさして逃げ歸る目の前にアラ怪しや密雲叢々と舞ひ下るよと見る間に黃登面なる腰橋湖の中から煌々たる光りと共に忽ち一種の怪物彼の密雲に捲はれて次第々々に天空高く舞ひ昇る、一同哀號と計り口あんぐり、中空を見上げて呆然たる中怪物は終に逝かな雲間に姿を沒した、何んでも龍が昇天したのださうで今年は愈な豐年じやと昨今裡里地方の鮮民は寄ると觸ると是沙汰である(裡里)

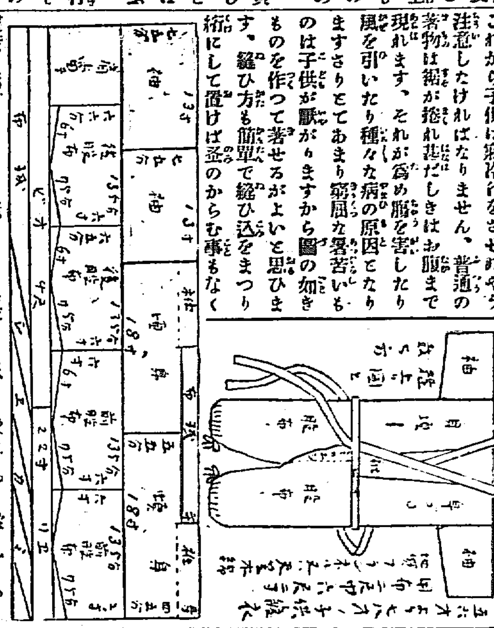
日報俳壇

若葉
陽の筋に朝風光る若葉かな　山紫房
江を緩う下る舞舫や若葉風　同
途を進ぐベンキに若葉搖り居り　默々
黑ばへ
黑ばへや浴躍り上がる岬町　山紫房
旱
避雷針が旱の空に尖り居る　同
海に沈む朝月赤き旱かな　同
桐の花
花桐や雨後の陽匂ふ邸町　同
古城趾の傾松や羽抜鳥　同
水鷄
水尾曳く番小屋の灯や鳴く水鷄　山紫房
蝸牛
首を擡げて雨見る窓や蝸牛　同
夏の雲
雨近う夏雲島を彩りぬ　同
目高
手拭で目高汲み居る泥き兒等　隈山
暑
街の暑さを塵芥車通りけり　同
支那町は物支那臭き暑さ哉　董水
蟬
紛れ飛ぶ蟬うとまし雨後の月　高村
夕立
島に湧く夕立雲や帆垂れ船　同
扇
ヨボの顏は誰も似て居る扇哉　董水
回一日一句
追善の諦水なき鷄若葉　鳥兒
脊嵐摺餌の鉢を渡りけり　案山子
白夏服ならぶ食卓の靜まり　黄丘

改良 寢衣の縫方

これから子供は寢冷をさせぬやう注意したければなりません、普通の着物は裾が捲れ甚だしきはお腹まで現れます、それが爲め腹を害したり風を引いたり種々な病の原因となりますさりとてあまり窮屈な着苦しいものは子供が厭がりますから圖の如きものを作つて着せるがよいと思ひます、縫ひ方も簡單で縫ひ込をまつり縫にして置けば蒸のからむ事もなく洗濯も容易で、いくら轉がつても裾が捲れませんから何もかけずに寢ても寢冷する心配がありません。

縫方は帶より上部は普通筒袖着物のやうに縫ひ、帶より下はヅボン下のやうに縫ひ褶口を三分位の折りふせ縫にし、細き紐を通して適宜の大きさに括り、上下を縫ひ合せ縫ひ目の上に帶を附け、左脇帶の上を一寸程あけ帶を通して後へ廻し右脇にて結ぶこと、普通の付紐と同じです



▲市場の附替

[illegible]

商況

二十八日後場(買氣ある戻り腰)

[illegible]

廿八日の十月限

賣買取組高 一萬四千石 五千百石 十萬六千九百五十石

[illegible]

讀者の領分

▲朝鮮生よ餘り贅澤な事を云ひ給ふな僕等の地では衞生質行部へ電話で云つても手紙を出しても來て呉れず止なく警察へ頼んだり若くば手傳を以て頼み漸く來て頂きヨボ君に三拜九拜して汚物を汲んで頂くのである時間などを云ふのは實に贅澤である併し府に於ても最少し御注意致され財政上止なくんば東京式に個人汲取人を許されては如何(本町三丁目生)▲於青島の付名は金比羅磯といふ元と佛人の命名したコンフエレンスから出たものであるが如何にも面白い名であるをを日本人が絶影島なる美稱を俗惡な牧の島など、取變へたのに比しては似て非なるものであるせめて島の船付の所の名なりと金比羅磯と名付けて置きたいものである(象頭山小權現)▲京城は流石に都會だけあつてかなくれ者が多い二年前に湖南線の〇〇旅館で御客の品物を胡魔化した罪跡を晦まさん爲めに入質した者が今通行して見れば明治町で小間物店を開き而も平然として店頭に坐して居る(被害者の一人)▲米安驛田内に於ける網釣及び投網は昨年秋以來禁止しあるにも拘らず昨今京城[illegible]山等より釣漁に出掛け拒絶せられて歸る人夥からず注意ありたし(米安生)

新刊紹介

▲算術講義(寺尾理學博士、蘆野早大教授共著) 理論を應用して術を極めて平易明瞭に詳述せるものなり學ぶもの是の書に依らば無師獨習にて數奧を極むるを得べし而して此の書の傑出せる特色は以上の外商習慣、諸法令に關係する事項其他實際問題に應用し得べき諸種算法の長短を指摘したる等頗ぶる有益なる新著なり(一部二圓六十錢東京神田裏神保町九富山房)

▲挿入盛花草木の出生(小林鷺洲氏著) 本邦獨有のものにして近時流行しつゝある「挿入」「盛花」の秘傳を密畫入にて一々詳細に說明したるものなり(一冊一圓大阪東區南渡邊町八箭田文盛堂)

▲朝鮮諸官廳受驗提要(京城專修學校教授[illegible]氏著) 生活難の聲高き折柄比較的收入多き朝鮮總督府の官吏たらんとする者多きは當然の事といふべく此の書は是等希望者の爲めに極めて親切に編述せられたるものにて此の書に依りて受驗せば不必要の參考書を多讀するの必要なく短期間に登第者たり得べき資格を有するに至らん敢て文官及び巡査看守雇員志願者諸君に推奬す(一部四十錢京城本町一大阪屋)

▲食物の養生(三ノ八) 有名なる石塚左玄氏の食養療法に關する獨創雜誌なり化學的食養長壽論其の他食養療法の秘傳を公開せる記事多し(一部十三錢東京牛込市ヶ谷谷町五十一石塚食養所)

▲家庭のローマ字(八) ローマ字雜誌中に於て少年向きとして平易を主とし極めて平易なれば小中學生間に歡迎さるゝ事ならん(一部五錢、東京麴町有樂町一ノ三ローマ字ひろめ會)

▲少年(九) 少年向き雜誌として最も高尚に編輯法に於て一頭地を抜けり(一部十六錢東京時事新報社)

▲少國民(九) 安價にして面白き少年雜誌なり(一部十二錢東京京橋南鍋町一ノ七北隆館)

▲少年俱樂部(四ノ一〇) 體裁完備し内容多趣味多方なり(一部十六錢東京本鄕駒込阪下四八大日本雄辯會)

▲少女畫報(六ノ九) 内容極めて豐富にして面白き少女雜誌なり(一部十六錢東京京橋區元數寄屋町一東京社)

▲面白俱樂部(九) 趣味ある讀み物多きは同に面白俱樂部の名に背かず而かも一部十錢とは安いものなり(東京本鄕駒込阪下四八講談社)

▲新少女(三ノ九) 歷史物語號と題し少女向の歷史譚を收めたり(一部十二錢東京雜司ヶ谷上り屋敷一一四八婦人之友社)

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず更に「フェノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分泌量多くして而も粗糙なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可からず。

ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、なを左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ず

一、溫雅の芳香を有す

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類		
大形	家庭用	定價金二十錢
中形	携帶用	定價金十三錢
小形	旅行用	定價金十錢
極小形	旅館用	定價金五錢

内地以外は運賃を加ふ

ミツワ水石鹼 定價 大壜金五十錢 小壜金三十五錢 内地以外は運賃を加ふ

▼賣捌＝全國到る處の化粧品店。小間物店。藥舖。洋酒食料品店

ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目 藥種、染料、化粧品、香粧品、小間物問屋

登錄商號 丸見屋商店

電信略號○ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番 營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

金泉榮州間自動車時刻

下り 一番車 二番車：金泉發 前八、〇〇 後三、〇〇／玉山發 九、〇五 四、〇五／尚州發 [illegible]／咸昌發 [illegible]／龍宮發 [illegible]／醴泉發 [illegible]／榮州著 [illegible]

上り 一番車 二番車：榮州發 前八、〇〇 [illegible]／醴泉發 [illegible]／龍宮發 [illegible]／咸昌發 [illegible]／尚州發 [illegible]／玉山發 [illegible]／金泉著 [illegible]

▲小荷物運搬仕候

織居自動車部金泉支部 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間

上り 一番 二番：大邱發／河陽同／永川同／阿火同／慶州同／安康同／浦項著 [illegible]

下り 一番 二番：浦項發／安康同／慶州同／阿火同／永川同／河陽同／大邱著 [illegible]

大塚農場自動車所 大邱出張部 電話一一七番

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽(天津)牛莊行

和[?]丸 八月廿七日正午出帆

高砂丸 九月七日正午出帆

三河丸 九月十七日後十二時出帆

仁川海岸町十一丁目 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行

君が代丸 八月廿九日後四時出帆

大有丸 八月 日後四時出帆

大吉丸 八月 日後四時出帆

▲秀代丸 月 日後四時出帆

▲印大阪直行

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 八月 日後五時出帆／立神丸 八月 日後五時出帆

元山、清津、浦鹽行 和歌浦丸 八月 日後十時出帆／立神丸 八月 日後四時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆

門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

(外國航路[illegible])

神戸、大阪行
◎天智丸 八月卅一日 後二時出帆
△汕頭丸 九月十七日 後二時出帆

南浦、神戸、大阪行
●汕頭丸 九月一日 後二時出帆

×木浦、釜山、鼎原、郷の浦、長崎行
●安東丸 九月五日 後二時出帆
×安東丸 九月廿三日 後二時出帆

○横濱行
×汕頭丸 八月 日後二時出帆
△福州丸 八月 日

●南浦行
×汕頭丸 九月十四日後二時出帆

●鎭南浦、大連行
×安東丸 八月卅一日 後二時出帆
×安東丸 九月十八日 後二時出帆

◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆)
宮島丸 九月二十日後十二時出

◎清津行(元山出帆)
宮島丸 九月一日後十二時出

◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月 日前五時出帆
基隆丸 九月十 日後四時出帆

御注意 [illegible]

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番、二二〇番、五五八番

切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番

切符發賣所 仁川京城通り 開東旅館 [illegible]

阿波共同汽船仁川出帆

之栄、大連行

第廿共同丸 八月廿九日午後八時出帆／八月三十日後八時出

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)

仁川代理店 野口商會

元山代理店 田口回漕部

京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆

本社 京城南大門驛前 松原運送店 電話一、一七〇番

◎關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
京畿丸 九月二日
×忠淸丸 九月九日
×咸鏡丸 八月廿九日
平壤丸 九月十四日 釜山發

◎元山より各地經由雄基行
咸城丸 九月廿八日
三浦丸 九月三日 元山發

◎浦潮行(元山より城津清津經由)
平安丸 九月一日 元山發

◎元山長箭間
慶賓丸 九月四日
三浦丸 九月一日
忠淸丸 八月三十日 元山發

◎釜山元山間
慶賓丸 八月卅一日 釜山發
九月四日 元山發

◎鬱陵島行浦項及各地經由
[?]德丸 九月一日 釜山發

◎浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸
襄陽丸 毎日 釜山發

◎濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 八月三十日 釜山發

◎麗水行(各地經由)
海州丸
統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

◎木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸
南陽丸 三日目毎に 木浦發

◎木浦より濟州島行各島經由
東廻 公州丸 八月卅一日
西廻 慶興丸 八月 日 木浦發

◎多島海各島行
慶興丸 九月二日 木浦發

◎木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 八月 日
麗水丸 九月三日 仁川發

◎鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 九月一日 仁川發

◎海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸
錦江丸 毎日 仁川發

◎青島行(芝罘、大連經由)
江原丸 八月卅一日 仁川發
但し三十一日は休航